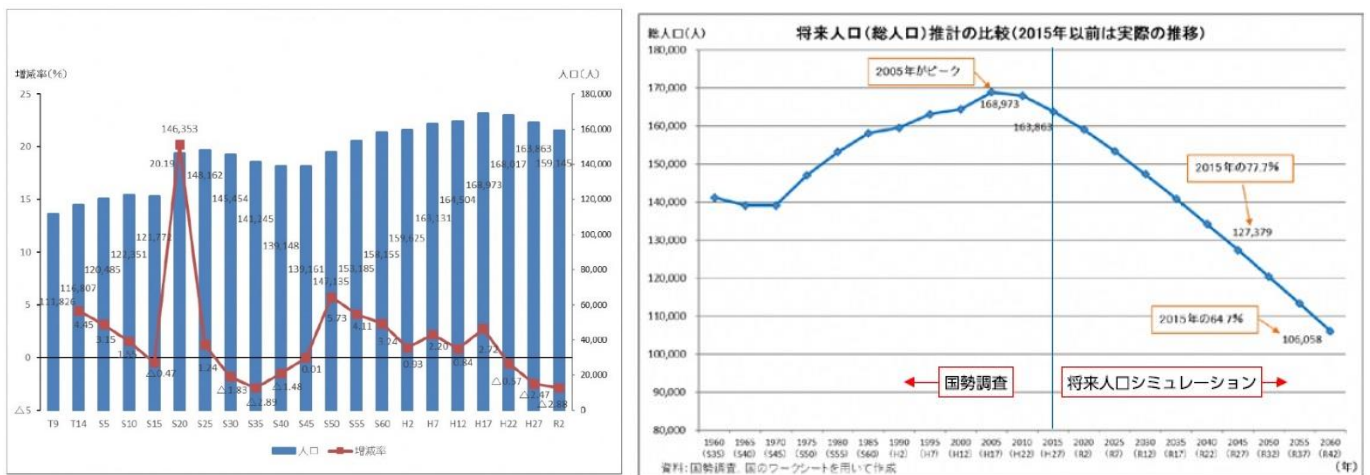


# 第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

## 1. 松阪市の人口

### (1)人口の推移と将来推計

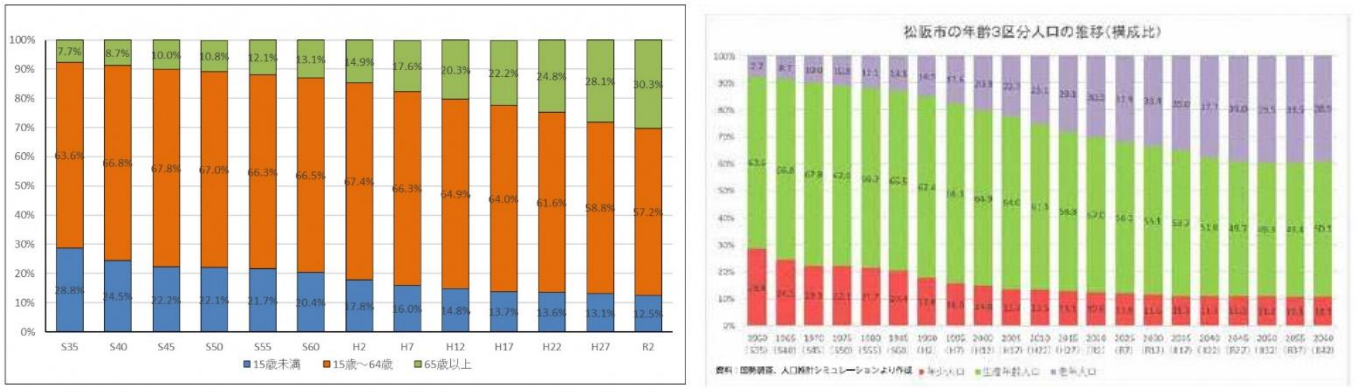
松阪市の人口は、国勢調査結果によると2020年（令和2年）10月1日現在159,145人であり、2015年（平成27年）に比べて4,718人（2.88%）の減少となっています。人口の推移に関しては2005年（平成17年）の168,973人をピークに減少に転じており、減少傾向は今後も加速すると予測されています。国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した試算によると2060年（令和42年）には2015年（平成27年）の総人口の約2/3（64.7%）となる推計も出ています（図一）。



図一 国勢調査結果による人口と人口増減率の推移（令和2年国勢調査 人口等基本集計（確定値）概要より抜粋）と将来人口（総人口）推計の比較（松阪市総合計画～明るいわ！ 楽しいわ！ 松阪やわ！～より抜粋）

### (2)年齢別人口割合の推移と将来推計

松阪市における年齢別人口では、2020年（令和2年）では老年人口割合（65歳以上の人口）は30.3%、生産年齢人口割合（15～64歳人口）は57.2%、年少人口割合（15歳未満人口）は12.5%となっています。全体では年少人口、生産年齢人口割合が減少傾向にある一方で、老年人口割合は増加し続けています。今後もこの傾向が続くことが予測され、2060（R42）年の年齢3区分人口構成比は、年少人口11.1%、生産年齢人口50.1%、老年人口38.9%となる推計が出ています（図二）。



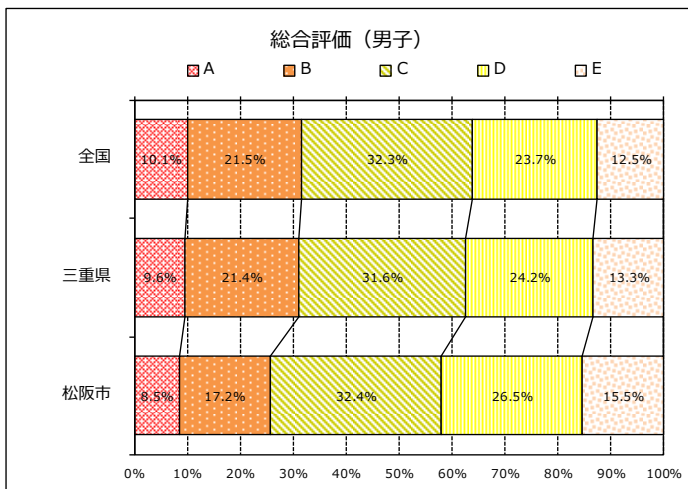
図一2 国勢調査結果による年少人口、生産年齢人口、老年人口の割合の推移（令和2年国勢調査 人口等基本集計（確定値）概要より抜粋）と松阪市の年齢3区分人口の推移（構成比）（松阪市総合計画～明るいわ！ 楽しいわ！ 松阪やわ！～より抜粋）

## 2. 子どもの運動・スポーツの現状

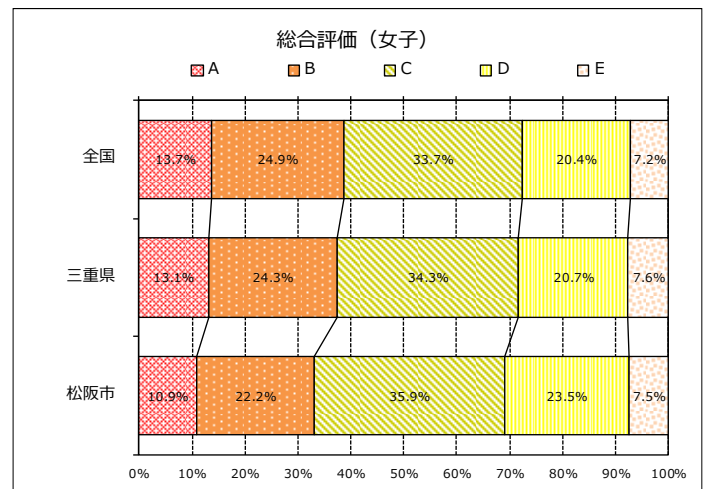
### (1) 子どもの体力・運動能力

小学5年生、中学2年生を対象にした「2021年度（令和3年度）全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、本市における児童生徒の体力・運動能力状況（体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価）は、小学生は男子・女子とも相対的に全国、三重県平均を下回る結果となりましたが、中学生についてはA評価の割合が男女とも全国、三重県平均を上回る結果となりました（図一3）。

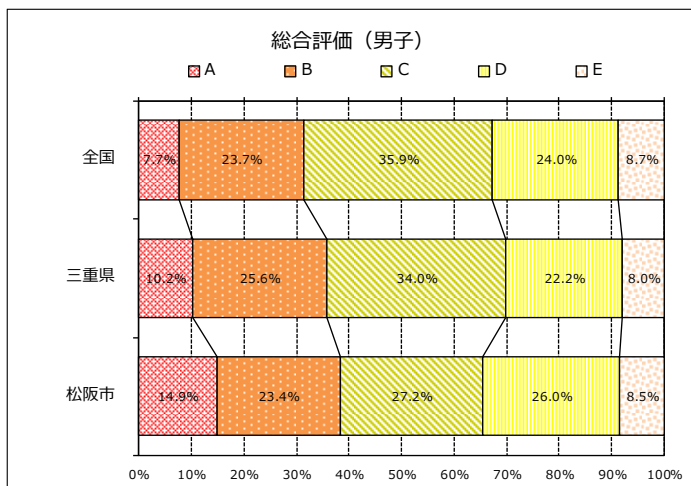
【小学生 男子】



【小学生 女子】



【中学生 男子】



【中学生 女子】

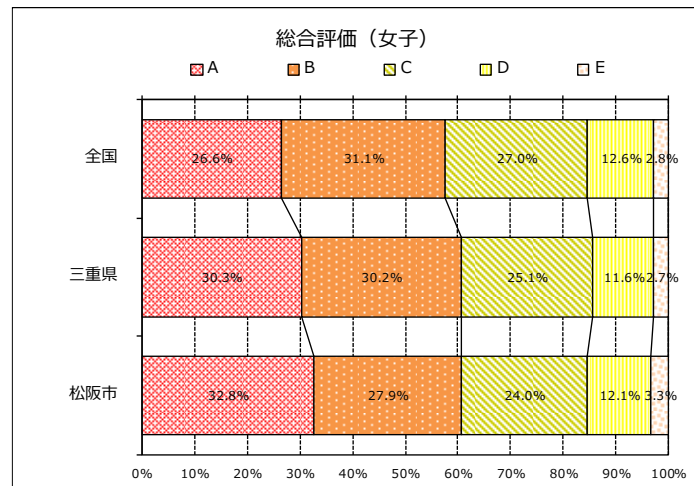


図3 児童・生徒の体力・運動能力の総合評価結果（2021年度（令和3年度）全国体力・運動能力、運動習慣等調査より抜粋）

また、同調査結果によると運動習慣については、小学生5年生において男子7%（全国 8.8%、三重県 8.8%）、女子 15.7%（全国 14.5%、三重県 15.6%）が、また中学校2年生の男子9%（全国 7.4%、三重県 5.9%）、女子が 15.8%（全国 17.8%、三重県 14.4%）がほとんど運動をしない（体育の授業を除く1週間の運動時間が60分未満）という結果になっています（図一4）。

【小学生】

男子	0分	1～59分	60～419分	420分～
全国	4.0%	4.8%	43.2%	48.0%
三重県	3.9%	4.9%	43.0%	48.2%
松阪市	2.4%	4.6%	43.2%	49.8%
女子	0分	1～59分	60～419分	420分～
全国	5.1%	9.4%	57.2%	28.3%
三重県	5.4%	10.2%	56.7%	27.7%
松阪市	5.8%	9.9%	56.4%	28.0%

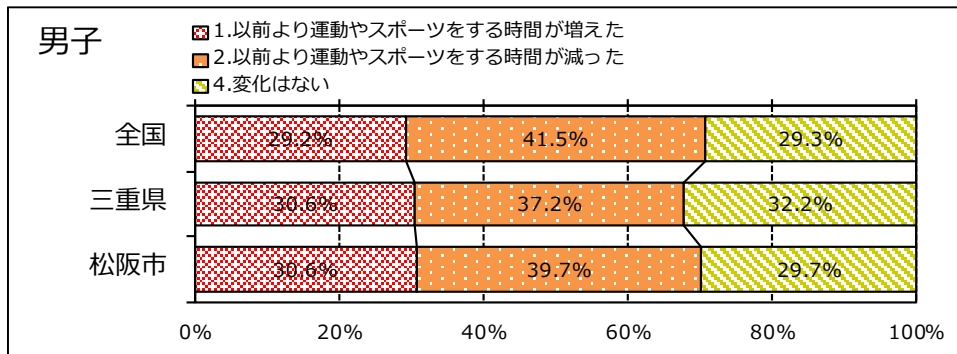
【中学生】

男子	0分	1～59分	60～419分	420分～
全国	5.3%	2.1%	13.4%	79.1%
三重県	4.4%	1.5%	7.5%	86.5%
松阪市	6.5%	2.5%	7.1%	83.9%
女子	0分	1～59分	60～419分	420分～
全国	11.3%	6.5%	23.8%	58.4%
三重県	9.2%	5.2%	17.7%	67.8%
松阪市	9.5%	6.3%	16.8%	67.4%

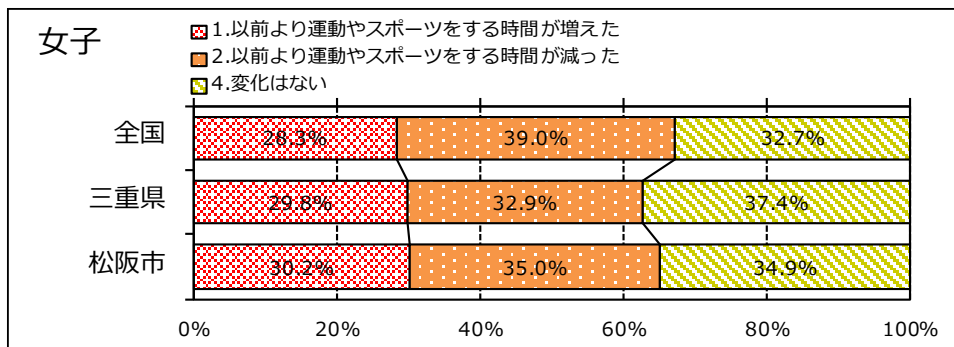
図一4 児童・生徒の1週間の総運動時間（2021年度（令和3年度）全国体力・運動能力、運動習慣等調査より抜粋）

また、同調査における「新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在とを比べて、あなたの運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツへの取組はどのように変化しましたか。」の問いに対し、小学生、中学生ともに「以前より運動やスポーツをする時間が増えた」と回答した児童生徒の割合が全国平均と比べると高い結果となっています（図一5）。

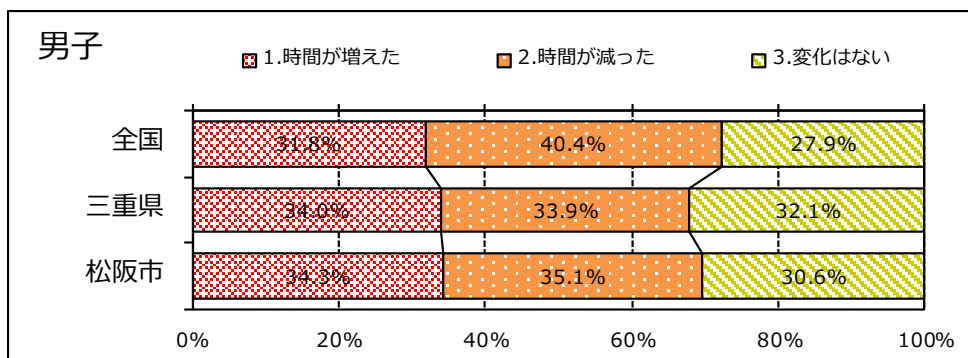
【小学生 男子】



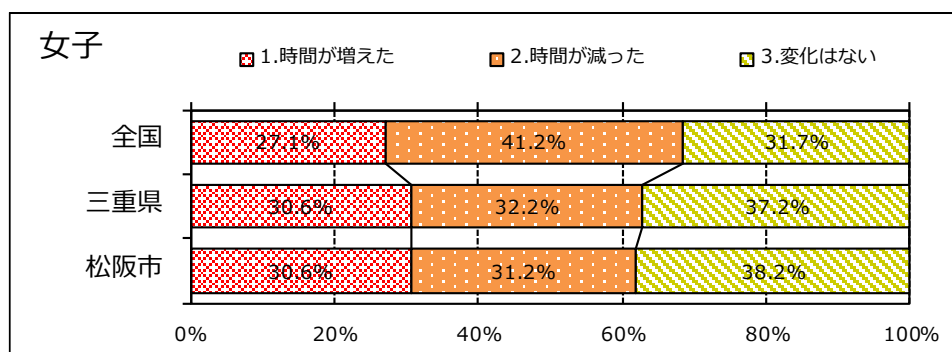
【小学生 女子】



【中学生 男子】



【中学生 女子】



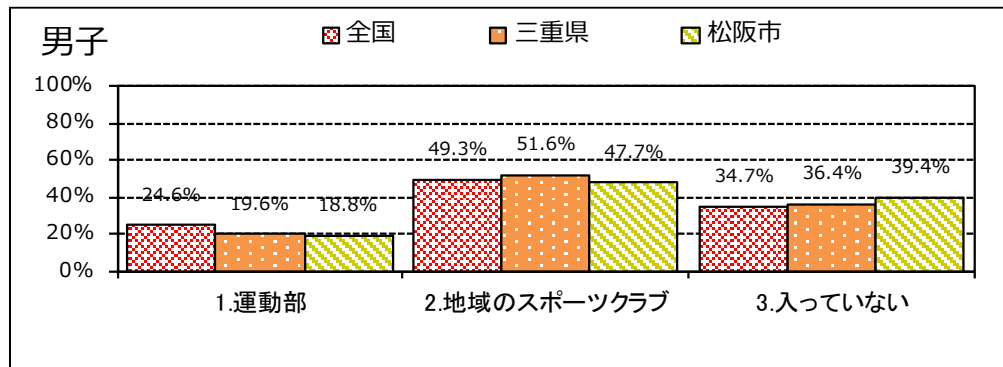
図ー5 新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在とを比較して、運動やスポーツへの取組の変化について（2021年度（令和3年度）全国体力・運動能力、運動習慣等調査より抜粋）

## (2)運動部・スポーツクラブの加入

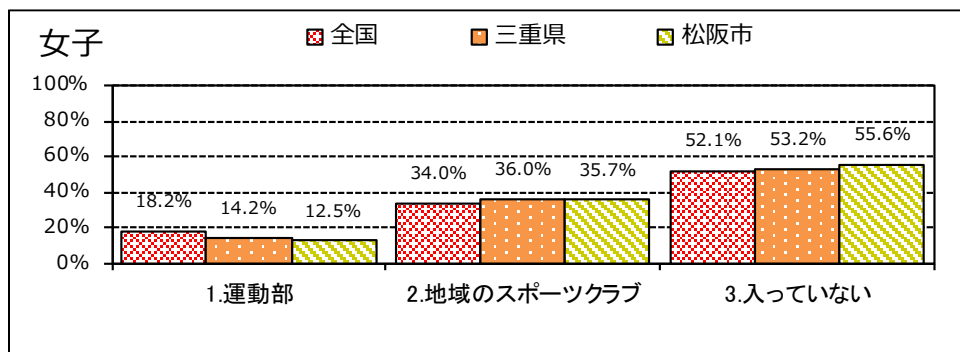
同調査によると、小学生男子の66.5%、女子の48.2%が学校での特別活動として行われる※運動部やスポーツクラブに加入しています。また、中学生では男子で91.4%、女子で76.1%が運動部・スポーツクラブへ加入している結果となりました（図―6）。

※運動部は、小学校は特別活動の一環としての必修クラブ。中学校は、課外活動としての部活動

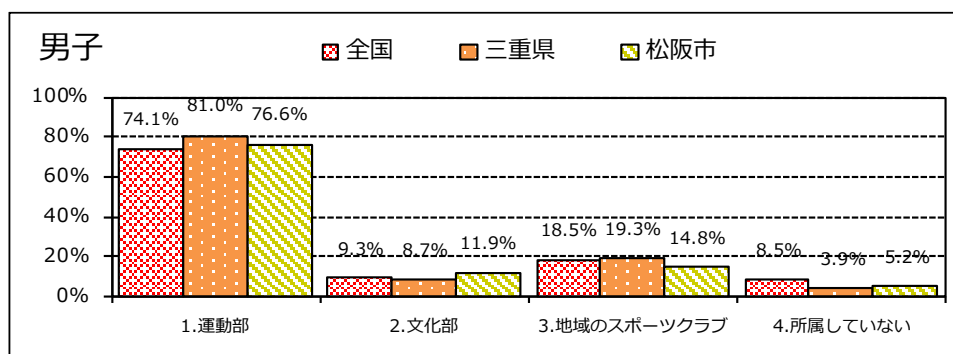
【小学生 男子】



【小学生 女子】



【中学生 男子】



## 【中学生 女子】

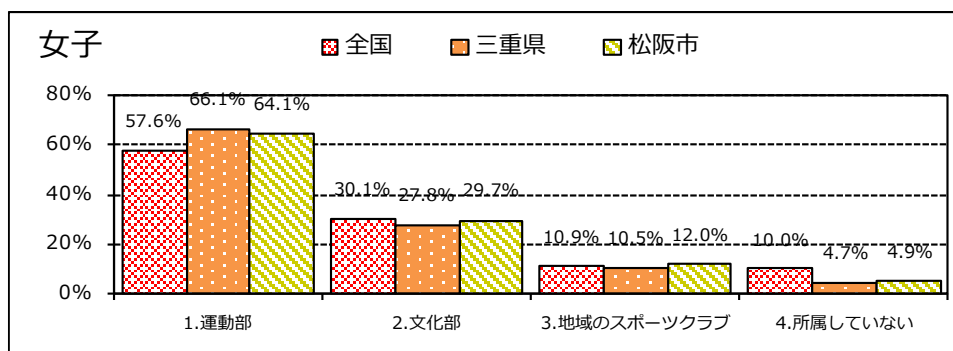


図-6 運動部やスポーツクラブ（スポーツ少年団等）等への加入状況（2021年度（令和3年度）全国体力・運動能力、運動習慣等調査より抜粋）

## 3. 市民生活とスポーツ活動の現状

本市では、スポーツ推進計画を見直すにあたり、16歳以上の市民3,000人を対象に運動・スポーツに関する意識やお考えを把握するために「運動・スポーツに関する市民意識調査」（以下、「市民意識調査」又は「調査」という。）を実施しました。（同調査は本計画策定の基礎資料とするため、2014年（平成26年）にも実施しています。）

### 松阪市運動・スポーツに関する市民意識調査 調査概要

1. 調査対象 松阪市に在住する16歳以上の男女
2. 配布数 3,000部
3. 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
4. 配布方法 郵送配布、郵送回収
5. 調査時期 令和4年7月22日（金）～8月22日（月）
6. 回収率 46.7%（有効回収数1,402部）

### （1）健康と体力の状況

健康状態を尋ねた質問では、健康である（「健康である」「概ね健康である」を合わせた回答）と答えた人の割合は計画策定時の平成26年度時調査では83.3%であったのが、今回の調査では84.1%とほぼ変わらず、約8割の人が健康であると回答しています（図-7）。さらに、体力の状況を尋ねた質問では、同様に『体力に自信がある』（「自信がある」「少し自信がある」を合わせた回答）と答えた人は4割強となっています。また、『体力に自信がある』と答えた人の年齢別の割合をみると、60歳代が最も低く10歳代が最も高くなっています（図-8）。

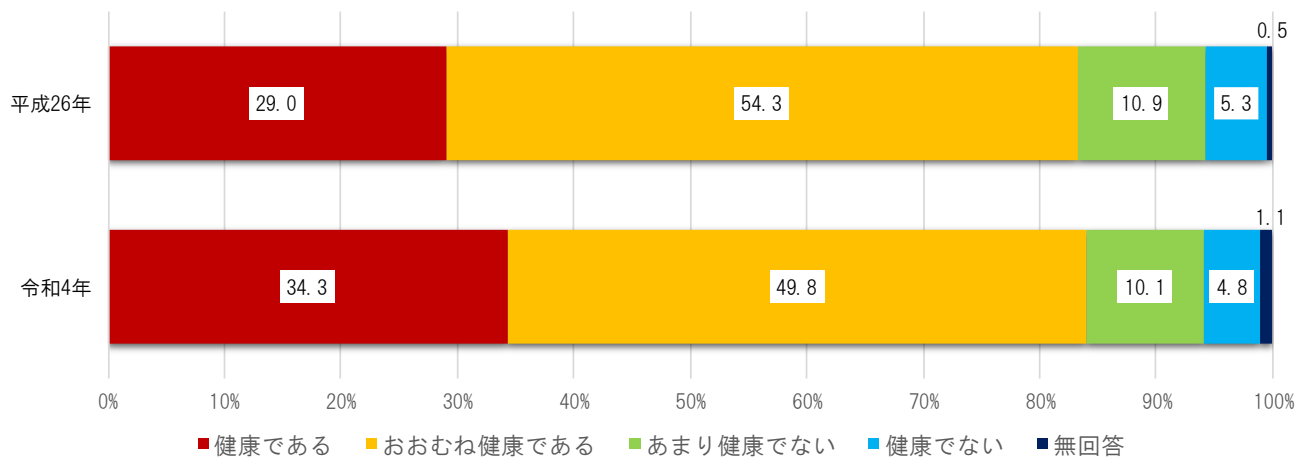


図-7 あなたご自身の健康状態について

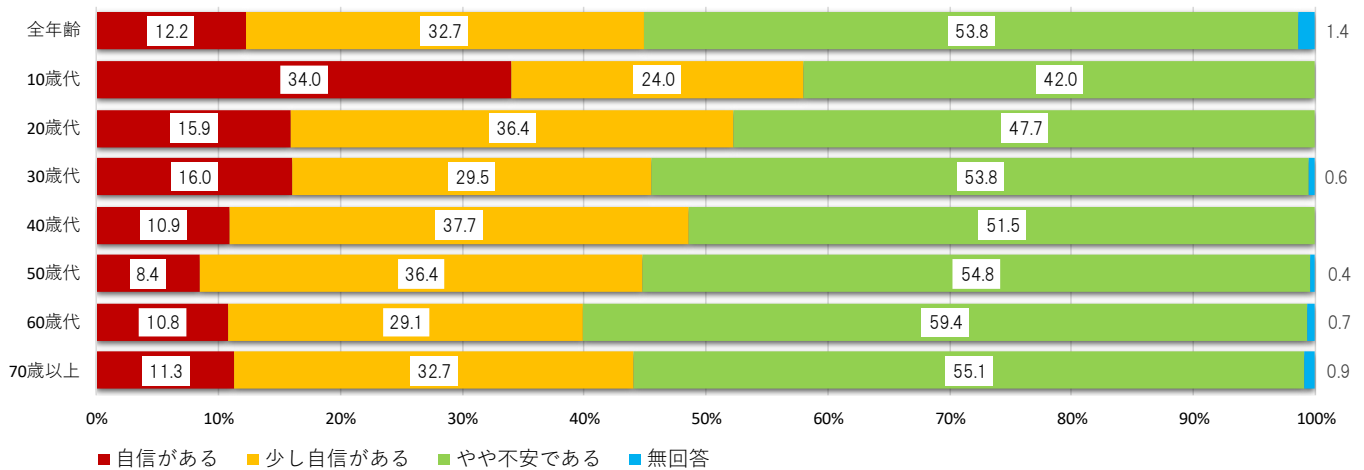


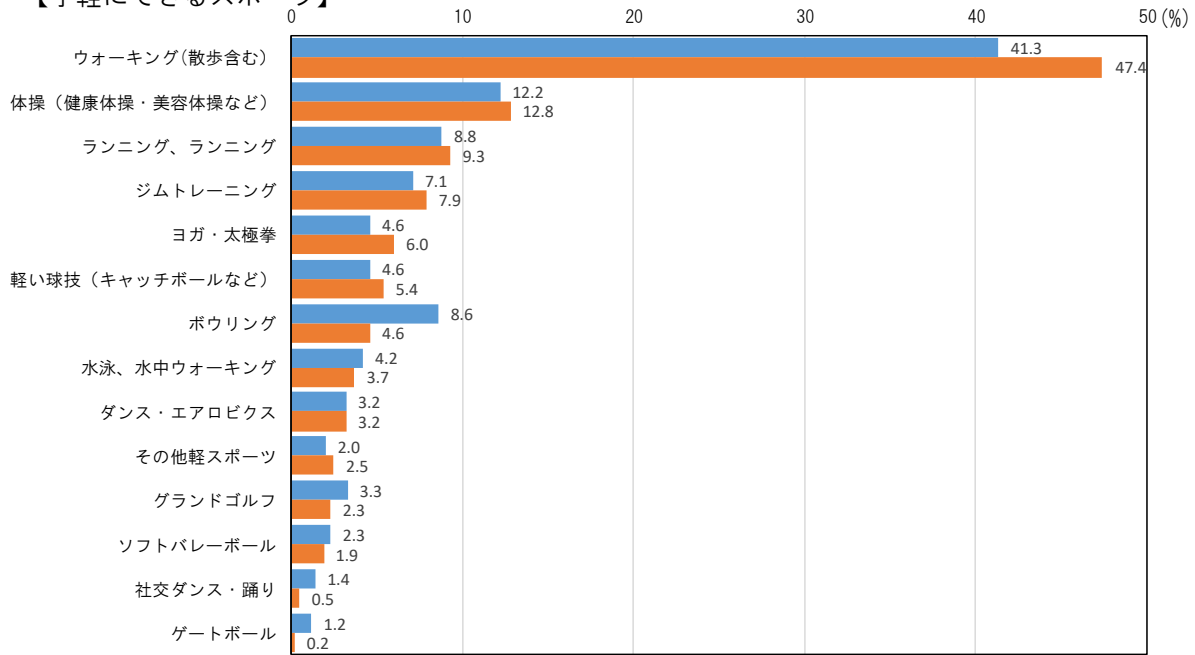
図-8 あなたご自身の体力について（年代別）

## (2)スポーツの実施状況

過去1年間に何らかの運動・スポーツを行った人の割合は68.4%で、何も行っていない人が30.7%となっています。平成26年度時調査と比較すると何も行っていない人の割合が少なくなっています。

実施種目では、「ウォーキング（散歩含む）」が最も多く47.4%、次いで「体操（健康体操・美容体操など）」が12.8%、「ランニング、ジョギング」が9.3%と手軽にできるスポーツが多くなっています。平成26年度時調査と比較するとこの傾向はさらに顕著になっています（図-9）。

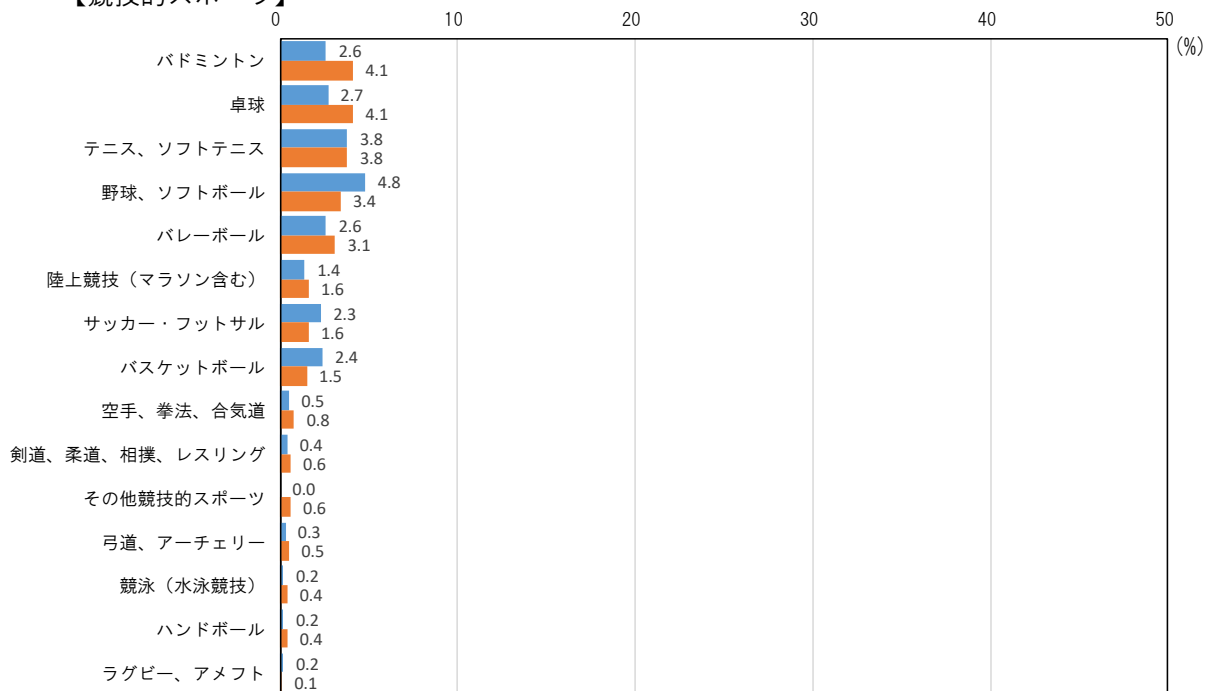
【手軽にできるスポーツ】



■平成26年 ■令和4年

図-9 運動・スポーツの実施種目(手軽にできるスポーツ)

【競技的スポーツ】

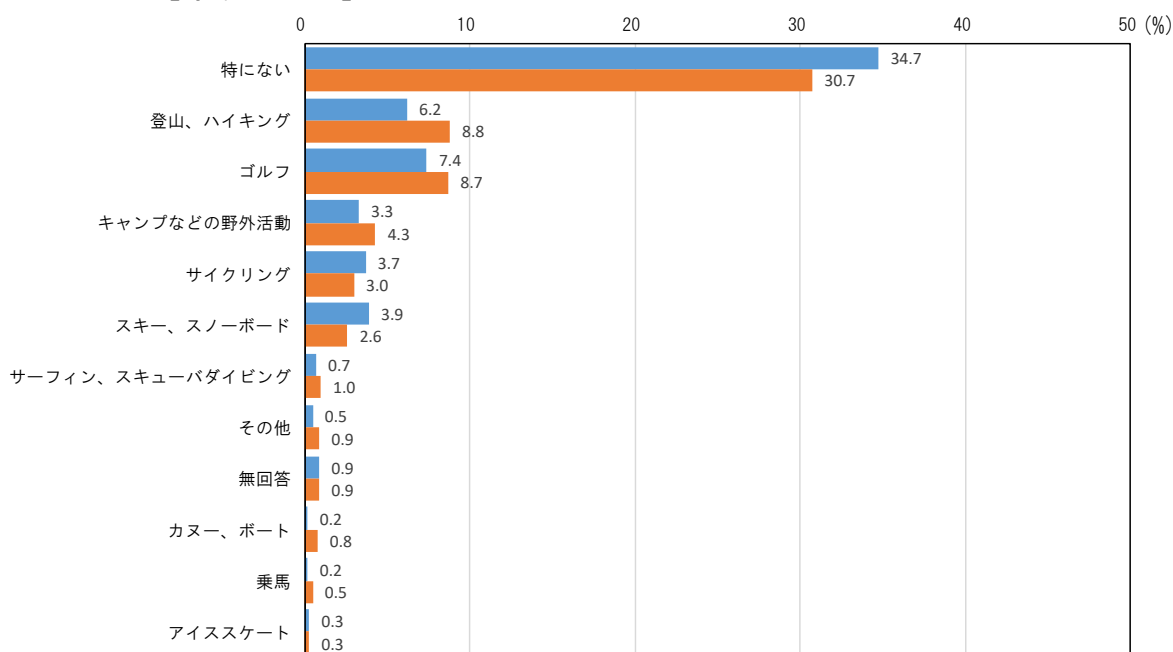


■平成26年 ■令和4年

図-9 運動・スポーツの実施種目(競技的スポーツ)



【野外スポーツ】



■平成26年 ■令和4年

図-9 運動・スポーツの実施種目（野外スポーツ）

また、過去1年間に運動・スポーツを行ったと答えた人について、その程度を尋ねたところほぼ毎日と答えた人の割合は10歳代が最も高く、20歳代が最も低い結果となりました。概ね20歳代以降は年代が上がるにつれその程度が高くなることわかりました。（図-10）。また、平成26年度時調査と比較すると、全体的にその程度は高くなっています（図-10、図-11）。

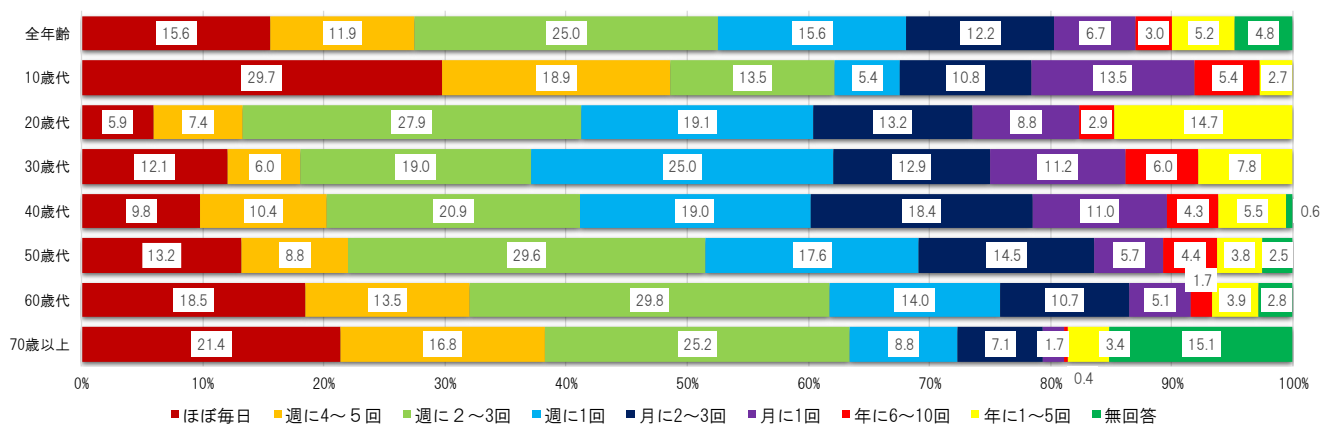


図-10 運動・スポーツの実施程度（令和4年度）

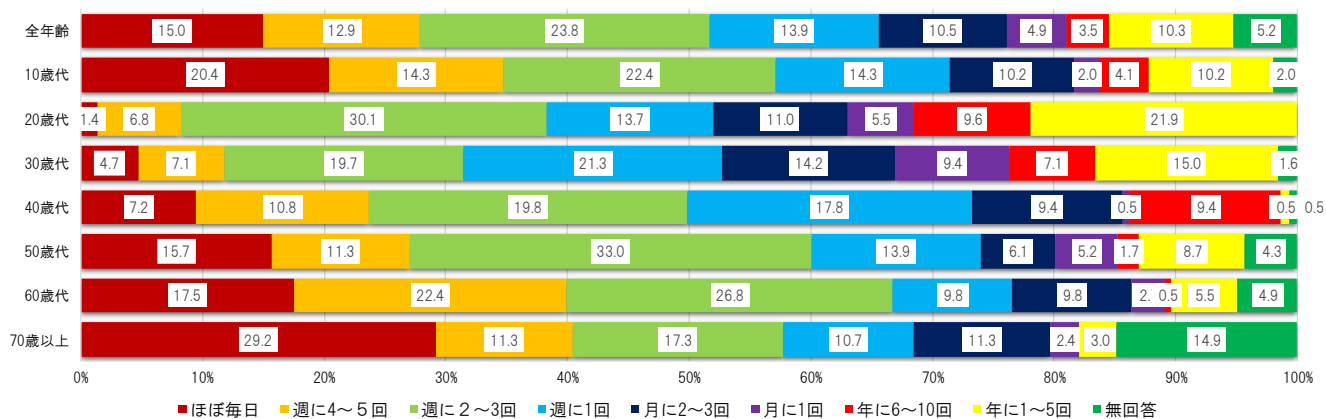


図-11 運動・スポーツの実施程度（平成26年度）

### (3)スポーツを行う目的・条件

運動やスポーツを行う主な目的は、「健康・体力づくり」の割合が55.4%で最も高く、次いで「運動不足解消」34.2%、「楽しみ・気晴らし」27.3%の順で多くなっています。平成26年度時調査と比較するとその傾向に大きな変化はありませんでした（図-12）。

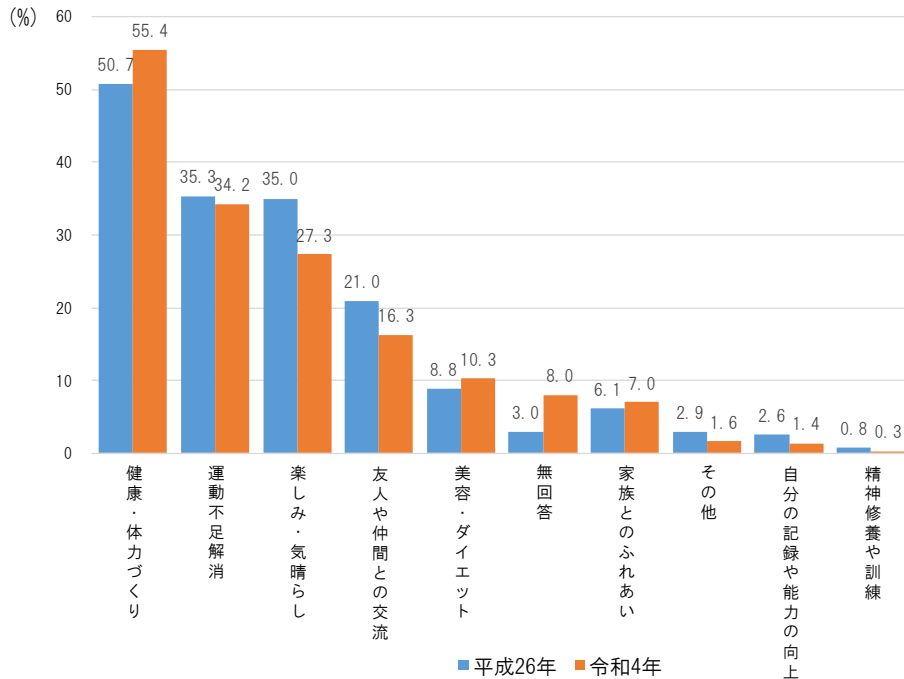


図-12 運動やスポーツを行う主な目的

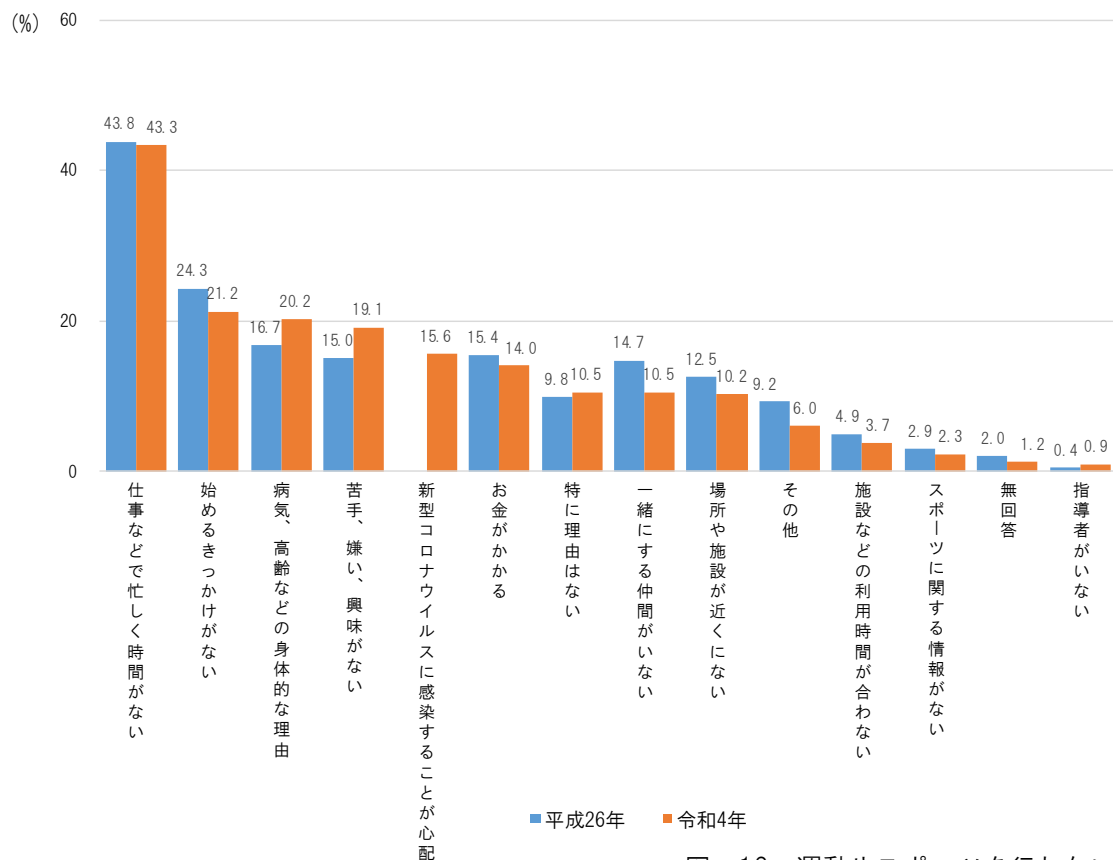


図-13 運動やスポーツを行わない理由

一方で、この1年間に運動・スポーツを行っていない人の行わない理由として、「仕事などで忙しく時間がない」の割合が43.3%と最も高く、次いで「始めるきっかけがない」が21.2%となっています。平成26年度時調査と比較すると今回新たに項目として設定した「新型コロナウイルスに感染することが心配」が15.6%となり、運動・スポーツを取り巻く環境が計画策定当初と比べ大きく変化していることがわかります（図-13）。

また、どのような点が変われば運動やスポーツを行うようになるのかでは、「休暇が増えれば」が最も高く24.4%、「一人で気軽にできれば」19.5%の順となっています。「特に理由がない」と答えた人も16.7%ありました。平成26年度時調査と比較すると今回新たに項目として設定した「新型コロナウイルスに感染するリスクが下がれば」が18.1%あり、計画策定当初と比べWithコロナにおける運動・スポーツのあり方があらためて問われる結果となりました（図-14）。

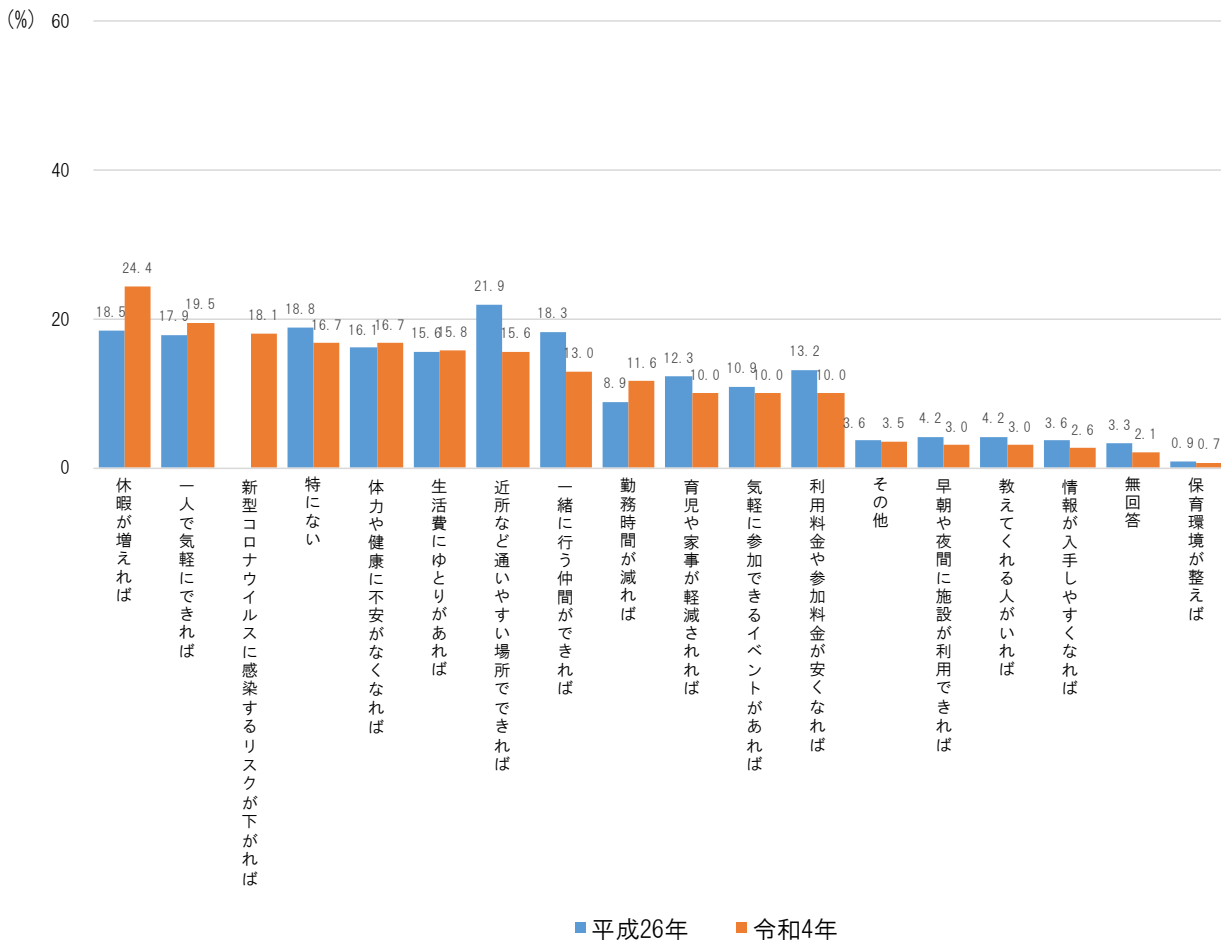


図-14 どのような点が変われば運動やスポーツを行うようになるのか

## (4) 今後、行いたい主な運動・スポーツ

今後、行いたい主な運動・スポーツの実施種目として、「ウォーキング（散歩含む）」49.9%、「体操（健康体操・美容体操など）」13.8%、「ジムトレーニング」12.0%「ヨガ、太極拳」10.9%など手軽にできるスポーツをあげる人の割合が多い結果となりました。また「特になし」と回答した人も9.4%ありました。平成26年度時調査と比較するとこの傾向はほぼ変わりありません。（図-15）。

【手軽にできるスポーツ】

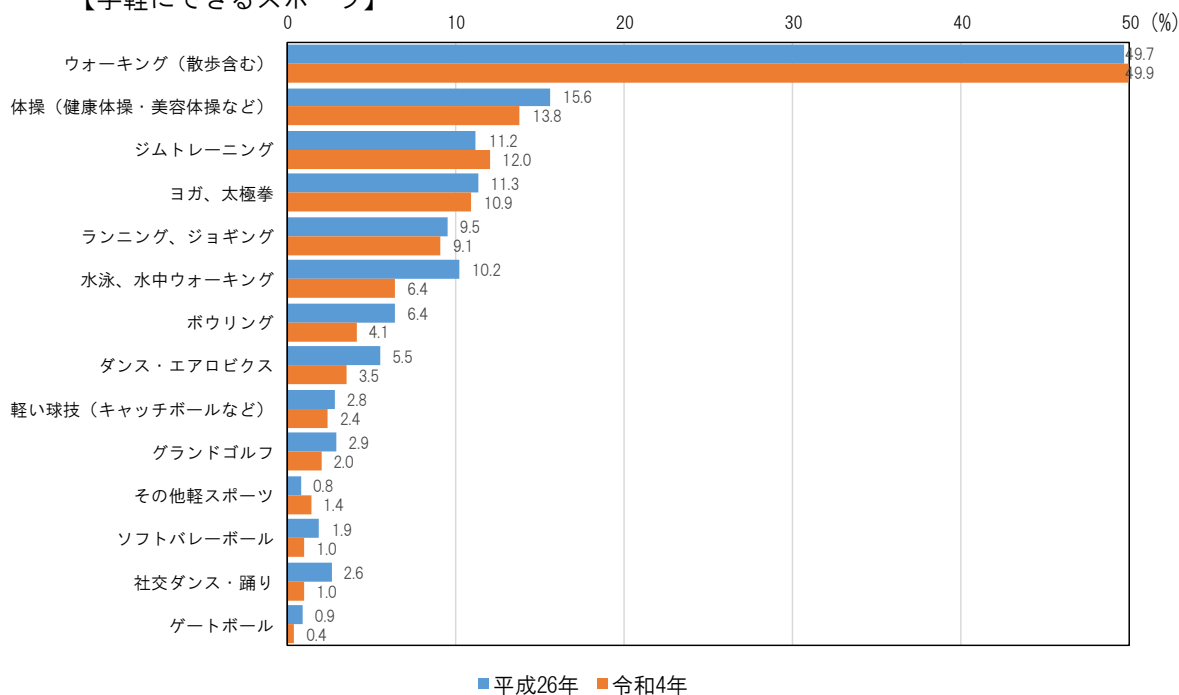


図-15 今後行いたい運動・スポーツの実施種目（手軽にできるスポーツ）

【競技的スポーツ】

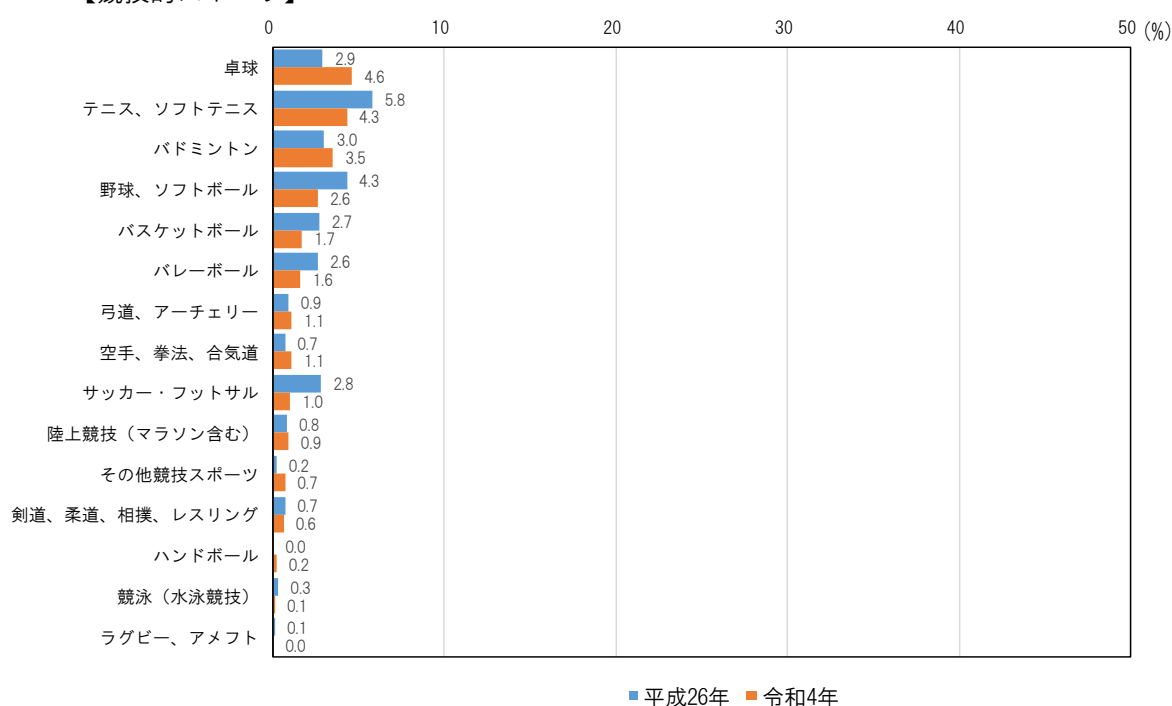


図-15 今後行いたい運動・スポーツの実施種目（競技的スポーツ）

【野外スポーツ】

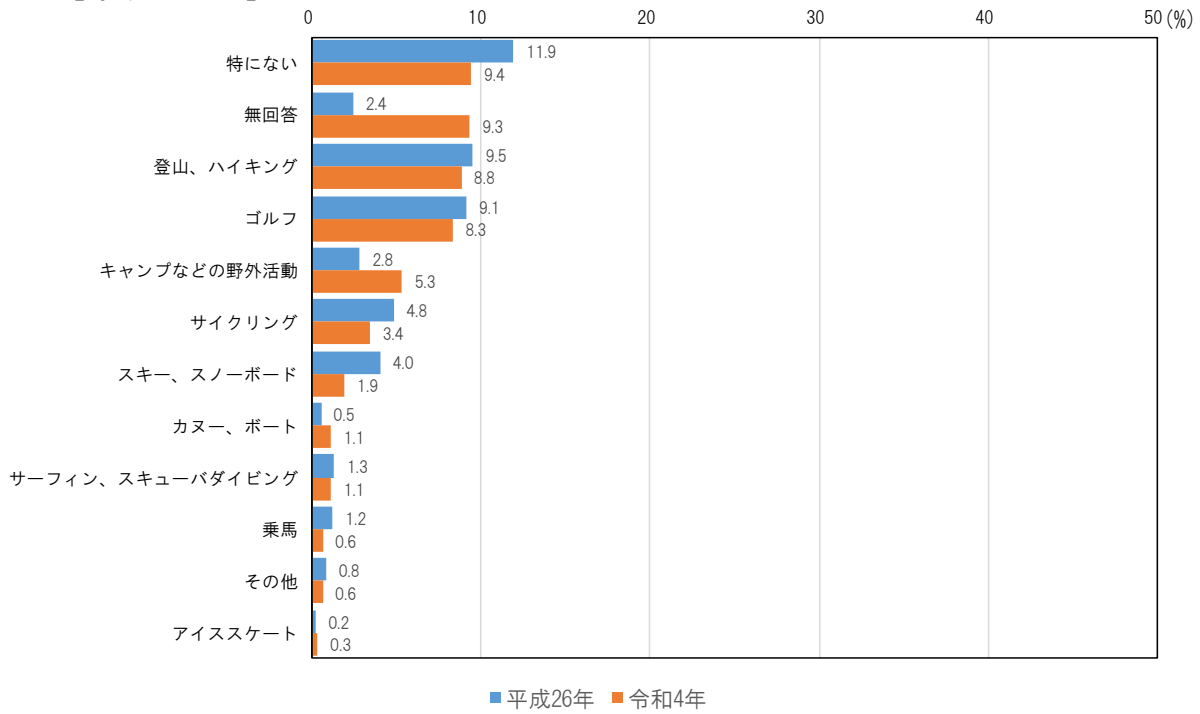


図-15 今後行いたい運動・スポーツの実施種目（野外スポーツ）

(5)スポーツボランティア

過去1年間にスポーツに関わるボランティアに参加したと回答した人の割合は2.3%と低くなっています（図-16）が、今後、スポーツボランティアに「参加したい」「機会があれば参加したい」と考えている人の割合は26.8%となっています（図-17）。平成26年度時調査と比較すると参加の有無、活動参加の意向とも大きな変化はありませんでした。

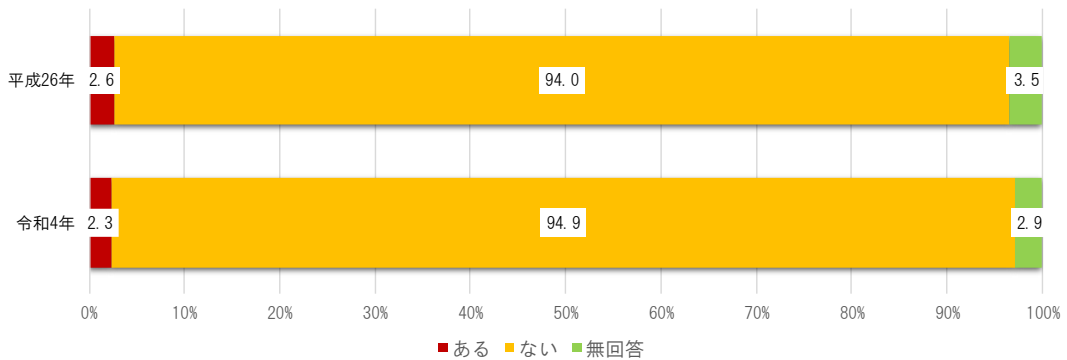


図-16 スポーツボランティア活動参加の有無

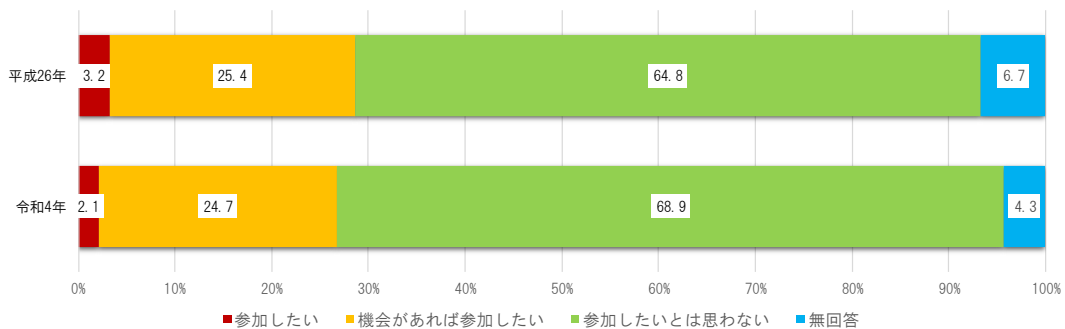


図-17 スポーツボランティア活動参加の意向

行いたいボランティア活動としては、「自分にできることは何でも手伝いたい」と考えている人の割合が45.5%と最も高く、次いで「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」が31.6%となっています。平成26年度時調査と比較すると「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」の割合が高くなっています（図-18）。

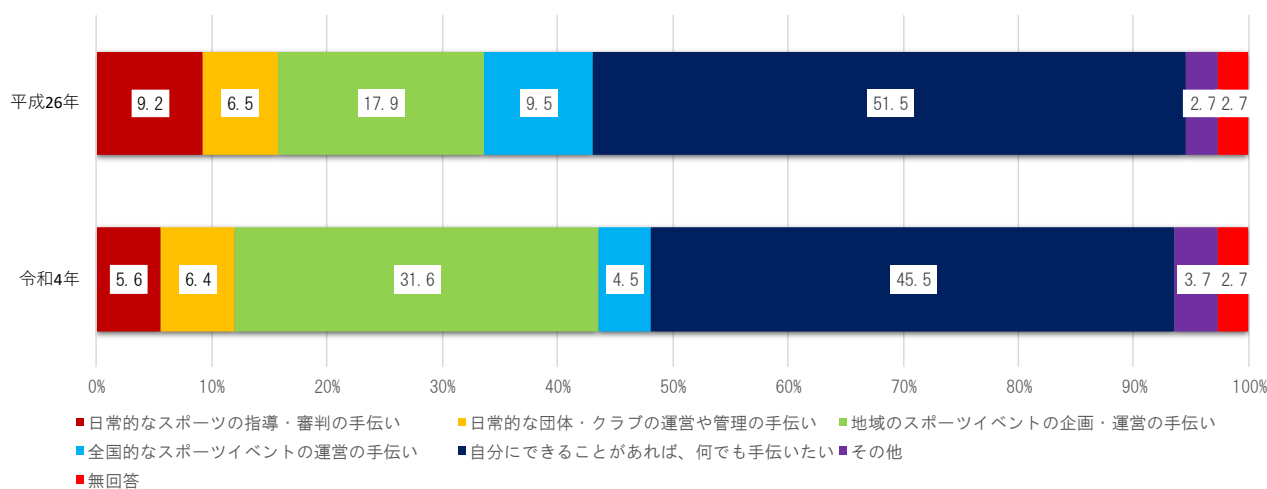


図-18 行いたいスポーツボランティア活動

## 4. スポーツ団体の現状

松阪市のスポーツの普及・振興のためにはスポーツ関係団体との協働・連携は欠くことができません。本市の主なスポーツ団体には、下記の団体があり、それぞれの活動を通して、本市のスポーツ推進に貢献しています。

### (1) 松阪市スポーツ推進委員連絡協議会

スポーツ基本法に基づき教育委員会が委嘱し、市民へのスポーツに関する指導・助言を行う「スポーツ推進委員」で構成されています。情報交換や相互の研鑽のための研修事業や、地域のスポーツ大会を主催・運営しています。

スポーツ推進委員数	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
60人	57人

### (2) 松阪市スポーツ協会

1945年（昭和20年）に発足、市民の体力増進と選手の強化及びジュニア世代の育成をめざし活動を行っています。また、市長杯スポーツ大会の運営やスポーツ協会会長杯スポーツ大会、指導者講習会の開催など市民スポーツの普及振興に取り組んでいます。

スポーツ協会加盟団体数	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
29団体	29団体

### (3) 松阪市スポーツ少年団

地域社会の中でスポーツを通じて青少年の健全育成を図ることを目的に1963年（昭和38年）に発足し、三重県スポーツ少年団交流大会への参加や市スポーツ少年団種目別交流会を開催し、少年団活動を通じ様々な交流が図られています。

スポーツ少年団登録団及び団員数	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
53団体・1,080人	48団体・918人

#### (4)松阪市レクリエーション協会

地域住民の余暇生活を充実し明るく豊かな生活を送ることを目的に、レクリエーションの普及・振興に取り組んでいます。

協会加盟団体数	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
6団体	7団体

#### (5)総合型地域スポーツクラブ

地域住民が主体的に活動し、子どもから高齢者までだれもが様々な種目に体力や技術レベルに応じて気軽に参加できる地域密着型のスポーツクラブです。

スポーツクラブ数	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
2団体	2団体

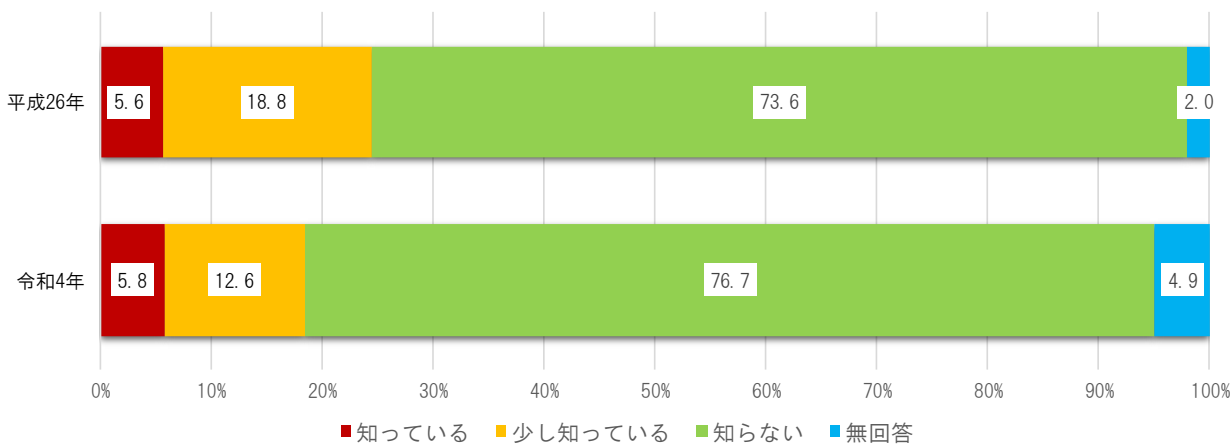
#### (6)市民意識調査からみたスポーツ団体の現状

##### ア)スポーツ推進委員について

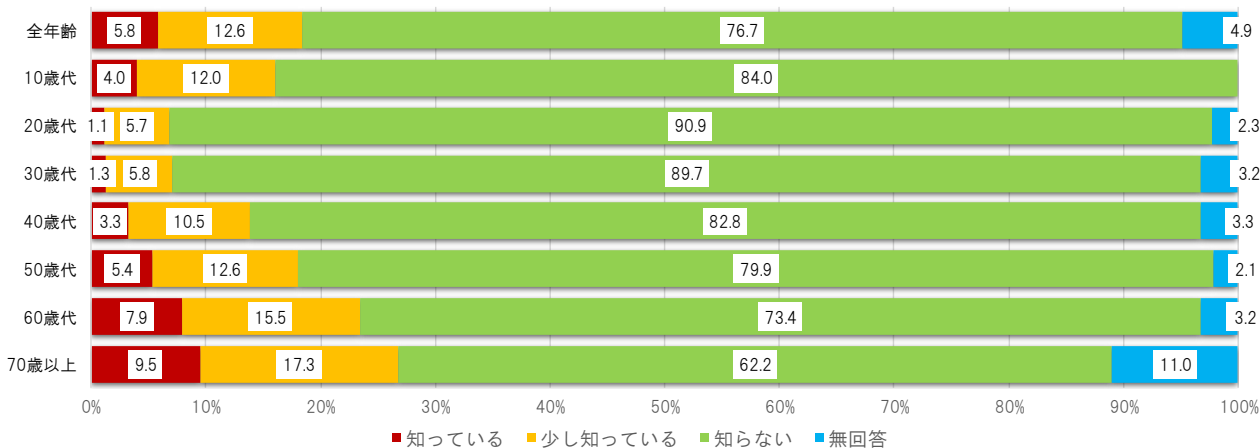
スポーツ推進委員について、「知っている」と答えた人の割合は5.8%、「少し知っている（名称は聞いたことがある程度）」は12.6%で、合わせて「知っている」人の割合は2割弱となって



います。一方で「知らない」と答えた人の割合は 76.7%で最も高い結果となっています。平成 26 年度時調査と比較するとこの割合は概ね変化はありません（図一19）。さらに、年代別における認知度についてみると、20 代が最も低く年代が上がるにつれ「知っている」割合が高くなっています。70 歳以上では 3 割弱の人が「知っている」と回答しています（図一20）。



図一19 スポーツ推進員の認知度



図一20 スポーツ推進員の認知度（令和4年度 年代別）

また、今後のスポーツ推進委員の活動として力を入れてほしい内容として、「健康や高齢者を対象とした運動スポーツの充実」と答えた人の割合が 32.7%と最も高く、次いで「誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい」が 23.5%、「地域の子どもや幼児の運動・スポーツ指導を充実させてほしい」が 22.5%の順となっています。一方で「特にない」と答えた人の割合も 25.7%となっています。平成 26 年度時調査と比較すると、子どもたちに向けたスポーツ活動の充実を求める傾向が強くなったことがわかりました（図一21）。

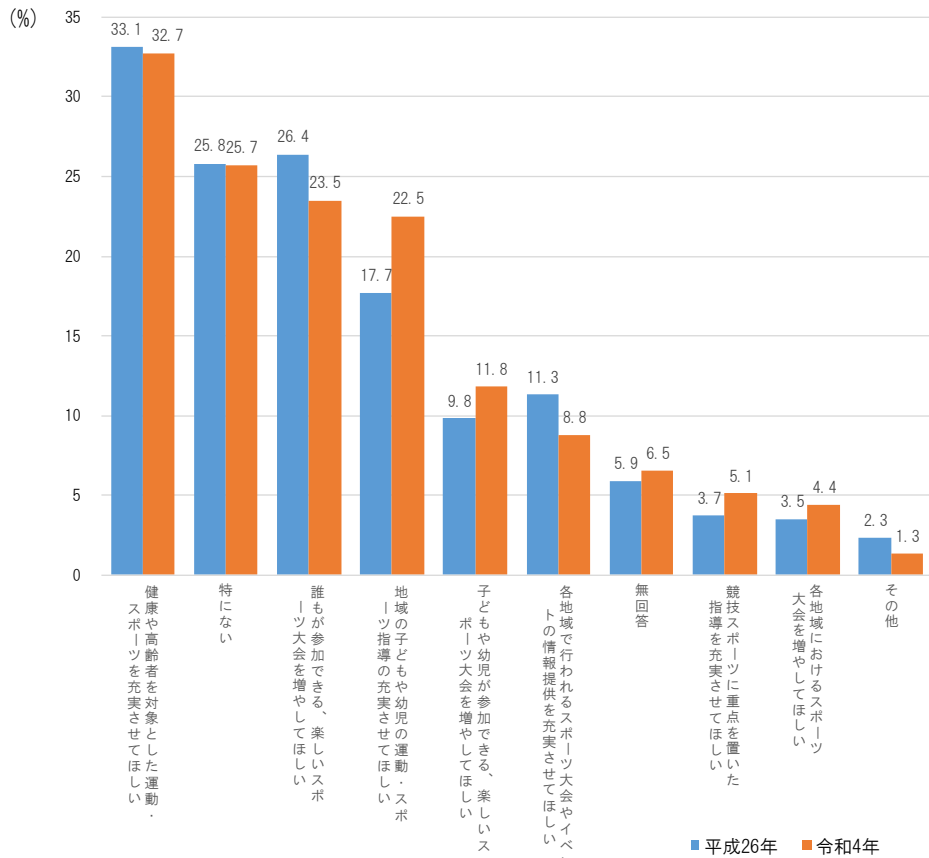


図-21 今後のスポーツ推進委員の活動への要望

## イ)総合型地域スポーツクラブについて

総合型地域スポーツクラブの認知度について尋ねたところ、「知らない」と答えた人の割合が77.1%と「よく知っている」「知っている」と答えた人の割合（7.9%）を大きく上回っています。平成26年度時調査と比較すると認知度がわずかながら改善している結果となりました（図-22）。これに対し今後、スポーツのクラブや同好会・教室などに加入したい（「加入したい」「機会があれば加入したい」を合わせた回答）と考えている人の割合は約4割となっています。一方で「加入したいと思わない」と考えている人の割合も51.1%となっています。平成26年度時調査と比較すると「加入したいと思わない」と考えている人の割合が増えています（図-23）。さらに、年代別にみると、加入したいと答えた人の割合は、10歳代が最も多くなっており30歳代、40歳代、50歳代でも約5割の人が加入したいと考えていることがわかりました（図-24）。

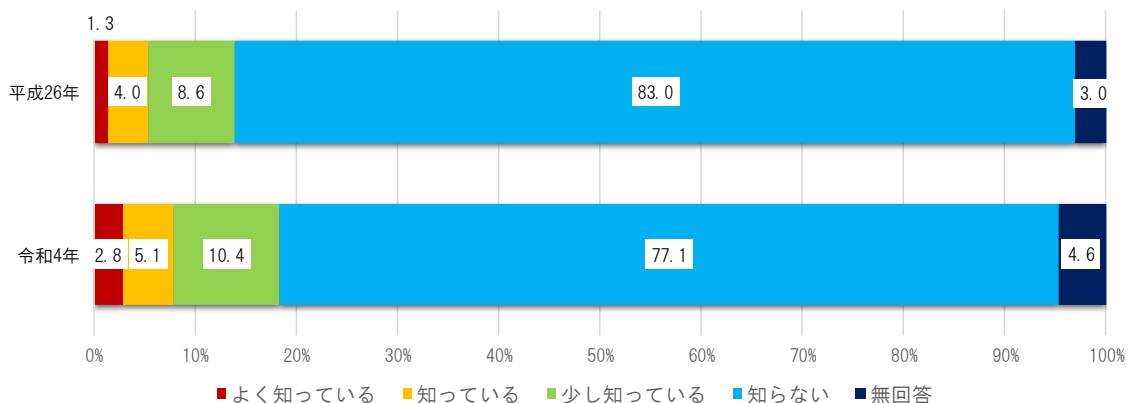


図-22 総合型地域スポーツクラブの認知度

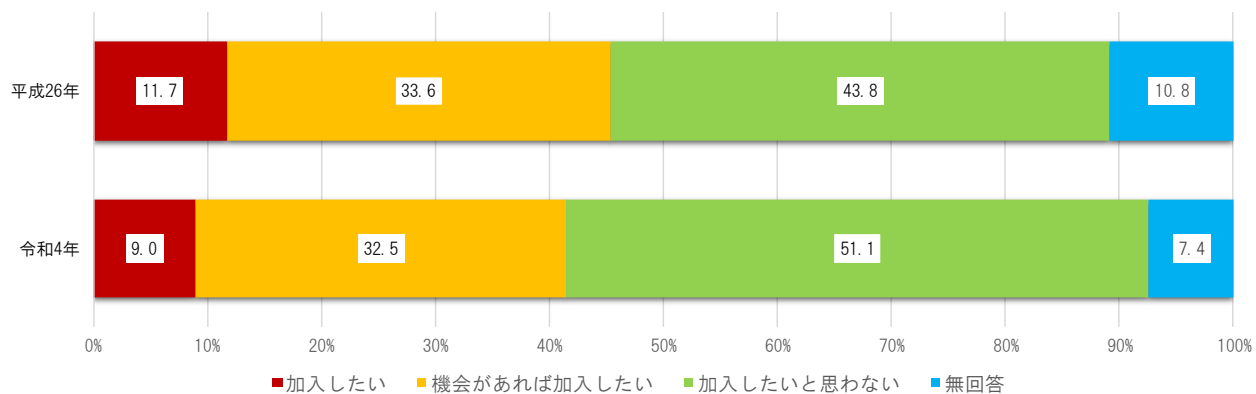


図-23 スポーツクラブや同好会・教室への加入意向

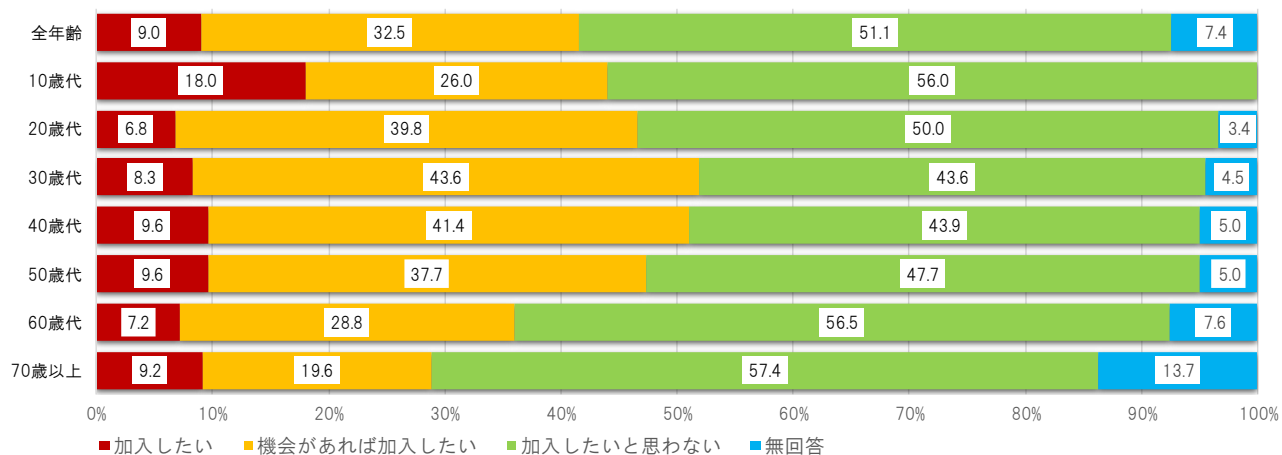


図-24 スポーツクラブや同好会・教室への加入意向（令和4年度 年代別）

## 5. スポーツイベントの現状

### (1) 松阪市主催によるスポーツイベント

#### ア) 各種市長杯大会

市民により多くのスポーツを楽しめる機会を提供し、健康で豊かな生活を送ることを目的に、2016年度（平成28年度）より16種目の市長杯大会を開催しています。

令和3年度については23種目にて大会の開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により9種目のみ開催されました。

市長杯大会数	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
16 種目 日本拳法、ゲートボール、サッカー、テニス、ゴルフ、バスケットボール、ママさんバレーボール、ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ、柔道、ソフトボール、ソフトテニス、バレーボール、ふれあいスポーツ、卓球、軟式野球	23 種目 日本拳法、ゲートボール、サッカー、テニス、ゴルフ、バスケットボール、ママさんバレーボール、ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ、柔道、ソフトボール、ソフトテニス、バレーボール、ふれあいスポーツ、卓球、軟式野球、硬式野球、アーチェリー、カヌー、フットサル、水泳、ボッチャ、ボウリング ※コロナ禍により9種目のみ開催

#### イ) みえ松阪マラソン

三重県唯一のフルマラソンとして、幅広い年齢層で参加できる本市最大のスポーツイベントとして開催準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年大会、2021年大会と2年連続で開催延期となり、満を持して2022年大会が全国47都道府県から7,000人を超えるランナーの参加により盛大に開催しました。

大会は企業、各種団体の協賛・支援とともに、多くのボランティアによって運営されました。大会を通じて交流人口の増加とともに、宿泊等により多くの経済波及効果があり、まさにスポーツと連動したまちづくりに寄与するスポーツイベントとなりました。

#### ウ) 児童水泳記録会

市内在住の小学生を対象に、松阪公園プールの開園期間中に開催し、水泳を通じた体力づくりをはじめ、水泳種目の拡大、子どもたちの親睦のため毎年開催してきましたが、新型コロナウイ

ルス感染症拡大の影響により令和2年、3年度は中止となりました。また、令和4年度については、児童の熱中症防止の観点から会場を民間の屋内プールにて開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

## エ)各地域におけるスポーツイベント

三雲、嬉野、飯南、飯高の各地域では、各地区体育振興会の協力のもとさまざまなスポーツイベントが実施されています。三雲地域ではシャフルボード及びスカットボール大会、嬉野地域ではふれあいフェスティバル及びなめり湖健康ウォーキング、飯南地域では市民駅伝飯南大会及びジョギング大会、飯高地域ではビーチボールバレー大会など各地域の特色を活かしたイベントが開催されています。これらのイベントにはスポーツ推進委員の方々も運営に携わっています。

## オ)みえスポーツフェスティバル

みえスポーツフェスティバルは、三重県、三重県教育委員会、公益財団法人三重県スポーツ協会、一般社団法人三重県レクリエーション協会及び三重県スポーツ推進委員協議会との共催により、県民に幅広いスポーツ・レクリエーション活動を実践する場をつくり、生涯にわたり、健康でいきいきとしたスポーツライフの実現ができるようスポーツ・レクリエーション活動を普及・振興することを目的に県内全域で様々なスポーツ種目を実施しています。

## (2)松阪市スポーツ協会主催によるスポーツイベント

### ア)松阪市スポーツ協会会長杯

松阪市スポーツ協会は、市民の体力増進と選手の強化及びジュニア世代の育成をめざし、2008年度（平成20年度）より、各協会を主体にそれぞれの種目の大会を開催しています。令和3年度については、10種目の開催を予定していましたが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により5種目のみの開催になりました。

会長杯大会数	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
9種目 軟式野球、ソフトボール、卓球、ゴルフ、 日本拳法、サッカー、ソフトテニス、小 学生リレー、硬式テニス	10種目 軟式野球、ソフトボール、卓球、ゴルフ、 日本拳法、サッカー、ソフトテニス、小学 生リレー、硬式テニス、バスケットボール ※コロナ禍より5種目のみ開催

## イ)松阪スポーツ人の集い

松阪スポーツ人の集いは、松阪市スポーツ協会と松阪市が共催で同協会に加盟している各種目団体関係者並びに市内スポーツ関係者が一堂に会して、情報や意見交換を行うとともに親睦を深めることを目的に開催しています。同集いは3部構成で第1部は美し国三重市町対抗駅伝松阪市選手団の結団式を、第2部は全国大会等で活躍した選手や団体に対し表彰を行う「松阪市スポーツ賞授与式」を、第3部ではスポーツ協会指導者表彰式を行っています。イベント自体は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年、3年度は中止となりました。

## (3)松阪市スポーツ少年団主催によるスポーツイベント

### ア)松阪市スポーツ少年団種目別交流大会

松阪市スポーツ少年団本部に登録する団体を対象に交流大会を開催しています。大会は他市町登録団からの参加を受け入れるなどして、年々その大会規模が拡大しています。松阪地区柔道大会や嬉野剣道大会をはじめ、市外・県外から多くの参加者を募る大会が開催されています。令和3年度については、5種目での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3種目のみの開催となりました。

種目別交流大会数	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
5種目 柔道・バレーボール・ソフトボール・剣道・陸上	5種目 柔道・バレーボール・ソフトボール・剣道・陸上 ※コロナ禍より3種目のみ開催

## (4)その他の主なスポーツイベント

### ア)総合型地域スポーツクラブ事業

誰もがいつでもどこでもスポーツを楽しむことを目的に、松阪市スポーツ協会が主体となって設立された「まつさかTAIKYOスポーツクラブ」では、現在競技スポーツから親子で参加できる教室を含め多彩な教室を開催しています。

また、嬉野管内を中心に活動している「NPO法人うれしのスポーツクラブAFLEC」は、卓球・バドミントン・グラウンドゴルフ・太極拳・ボールエクササイズ、よさこいなど生涯スポーツを中心に、年間を通してレギュラープログラムを組み運動習慣の醸成に努めています。

## まつか TAIKYOスポーツクラブスポーツ教室開催種目・会員数

計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
14種目・368人 柔道、ソフトボール、バレーボール、ゴルフ、ラグビー、ソフトテニス、ゲートボール、親子ふれあいスポーツ教室、キッズサッカー、陸上競技、卓球、アーチェリー、バトントワリング、水泳	15種目・319人 柔道、ソフトボール、バレーボール、ゴルフ、ラグビー、ソフトテニス、ゲートボール、親子ふれあいスポーツ教室、キッズサッカー、陸上競技、卓球、アーチェリー、バトントワリング、水泳、カヌー ※コロナ禍によりソフトテニス中止

## イ)美し国三重市町対抗駅伝事業

三重県内の市町間の交流・連携と県民意識のスポーツに対する意識の高揚を目的に、2007年度（平成19年度）から開催されている県の事業で、各市町で代表選手を選考し、大会に出場しています。42.195 kmを小学生から40歳以上の10区間により襷をつなぐもので、2014年度（平成26年度）の第8回大会において念願の総合優勝を果たしました。令和3年度については、代表選考会は実施しましたが、本大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

代表選考会	
計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
開催日：11月30日 場 所：中部台運動公園トリムコース 参加者：56人	開催日：10月17日 場 所：中部台運動公園トリムコース 参加者：54人

## ウ)伊勢神宮奉納社会人野球 JABA 伊勢・松阪大会

1949年（昭和24年）に第1回が伊勢で開催されている社会人野球の大会で、2014年（平成26年度）からは、ダイムスタジアム伊勢（伊勢市倉田山公園野球場）とドリームオーシャンスタジアム（県営松阪野球場）の2会場で、全国各地区から計12チームが参加し、開催しています。参加チームには全日本選手権や都市対抗野球に出場するチームもあり、プロ野球のドラフト会議で指名される選手のプレーを間近で観戦することで、市民のスポーツへの関心をさらに高めています。

計画策定時 (平成28年度)	現 状 (令和3年度)
開催期間：9月30日～10月3日 開催会場：県営松阪野球場 伊勢市倉田山公園野球場 出場チーム：12チーム	開催期間：10月29日～11月2日 開催会場：ドリームオーシャンスタジアム (県営松阪野球場) ダイムスタジアム伊勢(伊勢市 倉田山公園野球場) 出場チーム：12チーム

## エ)公民館趣味・サークル活動

市内にある公民館では、よりよい地域社会を育むため、地域に住む人々がいつでも気軽に学ぶことができるように、地域に応じた学級や講座を開催しています。その中の趣味・サークルの健康・スポーツ教室として健康体操、グラウンドゴルフ、ソフトバレーなど手軽に取り組める生涯スポーツが多数開催されています。その活動を通じて、地域住民の健康の増進を図ることはもとより、生活文化の振興、社会福祉の増進に大きく寄与しています。

## 6. スポーツ広報活動の取組

全国からランナーが参加するみえ松阪マラソンでは、公式ホームページに加え、Facebook、InstagramなどSNSを積極的に活用し開催周知を図っています。また、松阪駅南口（JR側）に横断幕を掲げ、世界大会や全国大会に出場する、さらにその大会で素晴らしい成績をあげた松阪市出身の選手を積極的に紹介しています。

その他、市長杯各種大会の開催、松阪市出身の選手の市長への表敬訪問等についてはマスメディアに情報提供することで、新聞紙面等を通じて広くスポーツ活動の様子を紹介する取組を行っています。



## 7. スポーツ施設の現状

### (1) 松阪市のスポーツ施設の現状

現在、市内にある主なスポーツ施設は、体育館・武道館8施設、野球場・ソフトボール場10施設、テニスコート8施設、プール3施設等となっています。地域別では、旧松阪管内27施設、嬉野管内2施設、三雲管内3施設、飯南管内5施設、飯高管内2施設となっています。その多くは、昭和50年代以前に建築され、30年以上が経過し、大規模な改修も必要になってきています。

また、市内には、中部台運動公園、阪内川スポーツ公園、松阪市総合運動公園の3つの運動公園が在り、松阪市のスポーツの拠点として多くの人に利用されています。

#### ア) 中部台運動公園

1974年（昭和49年）から1978年（昭和53年）にかけて整備された運動公園で、日本の都市公園百選に選ばれており、芝生広場（約20,000㎡）、総合体育館、テニスコート、流水プール、ドリームオーシャンスタジアム（県営松阪野球場）、トリムコース（サイクリングロード）、遊具広場、MAPみえこどもの城、松阪市天文台等の施設があります。特に、芝生広場やフィールドアスレチックは、市民憩いの場となっています。

#### イ) 阪内川スポーツ公園

1996年（平成8年）に完成した施設で武道館、多目的グラウンド、テニスコート及びゲートボール場があります。武道館には柔道場、剣道場、弓道場の3道場があり、スポーツ少年団活動から大学の合宿まで幅広く利用されています。

#### ウ) 松阪市総合運動公園

2012年度（平成24年度）に芝生広場、2014年度（平成26年度）に多目的グラウンドが完成し利用を開始しました。さらに2016年度（平成28年度）には、多目的広場（第1・2）が完成しました。多目的グラウンドは人工芝のグラウンドで主にサッカー場として利用され、松阪少年サッカーリーグ、三重県サッカーリーグ（U-15）のほか、三重県少年サッカー新人大会や全国高等学校サッカー選手権三重大会の会場としても利用されています。

また、2019年（平成31年）4月には、全国でも最大規模となる約4,890㎡のスケートパークがオープンし、カナダスケートボードオリンピック代表チームが東京オリンピックの事前キャンプ地として利用したほか、全国レベルの大会や東京オリンピックメダリストによるスケートスクールの会場としても利用されています。

■松阪市内の主なスポーツ施設

施設の区分	所管	施設名
体育館・武道館8ヶ所	市	松阪市総合体育館〈三十三銀行アリーナ〉
		松阪市武道館〈松阪牛の里オーシャンファーム武道館〉
		嬉野体育センター
		ハートフルみくもスポーツ文化センター
		飯南体育センター
		飯高B&G海洋センター
		子ども支援研究センター体育室
		松阪市勤労者総合福祉センター多目的ホール
野球場・ソフトボール場10ヶ所	市	松阪公園グラウンド〈竹輝銅庵CHIKKIDOUANモーモースタジアム〉
		阪内川スポーツ公園多目的グラウンド
		松阪市ソフトボール場（2面）
		嬉野グラウンド
		松阪市山村広場（飯南グラウンド）
		波留運動公園
		松ヶ崎公園グラウンド
		松阪市総合運動公園多目的広場
	松阪市勤労者体育施設多目的グラウンド	
県	県営松阪野球場〈ドリームオーシャンスタジアム〉	
ラグビー	市	櫛田川河川敷ラグビー場
スケートボード	市	松阪市総合運動公園スケートパーク
サッカー場2ヶ所	市	松阪市総合運動公園多目的グラウンド
	その他	高須町公園サッカー場

施設の区分	所管	施設名
テニスコート8ヶ所・34面	市	阪内川スポーツ公園テニスコート（4面）
		中部台テニスコート（7面）
		東部テニスコート（6面）
		ハートフルみくもテニスコート（2面）
		飯南テニスコート（3面）
		松阪市勤労者体育施設テニスコート（4面）
	その他	高須町公園テニスコート（4面）
		松阪地区広域衛生センターテニスコート（4面）
プール3ヶ所	市	松阪公園プール
		松阪市流水プール
		飯高B&G海洋センタープール
ゲートボール・パターゴルフ3ヶ所	市	阪内川スポーツ公園ゲートボール場
		ハートフルみくもパターゴルフ場
		飯南そまびとグラウンド
運動広場3ヶ所	市	松阪市総合運動公園芝生広場・多目的広場
		中部台運動公園芝生広場・トリムコース
		櫛田川河川敷グラウンド

## （２）利用実績からみたスポーツ施設の現状

市内の主なスポーツ施設の利用実績の総数は、2021年度（令和3年度）は317,714人でした。この人数は2017年度（平成29年度）の実績と比較すると約10万人減少しています。松阪市総合運動公園以外のスポーツ施設については、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた2019年度（令和元年）あたりから大きく減少しています。この期間については、多くのスポーツ施設で緊急事態宣言の発令等により施設の利用を中止にしたこともあり、施設の利用そのものができなかった期間があったこと、また、施設が利用できた期間についても、新型コロナウイルス感染症拡大により利用者自身が利用を控えられたことが要因であると考えられます。2020年度（令和3年度）は前年度と比べ微増している施設が多くありますが、コロナ禍以前の実績値にはほど遠い状況です。松阪市総合運動公園については、コロナ禍の影響を受けましたが、施設が新しいこともあり他のスポーツ施設ほど大きな減少になっていません。

■松阪市内の主なスポーツ施設の利用実績

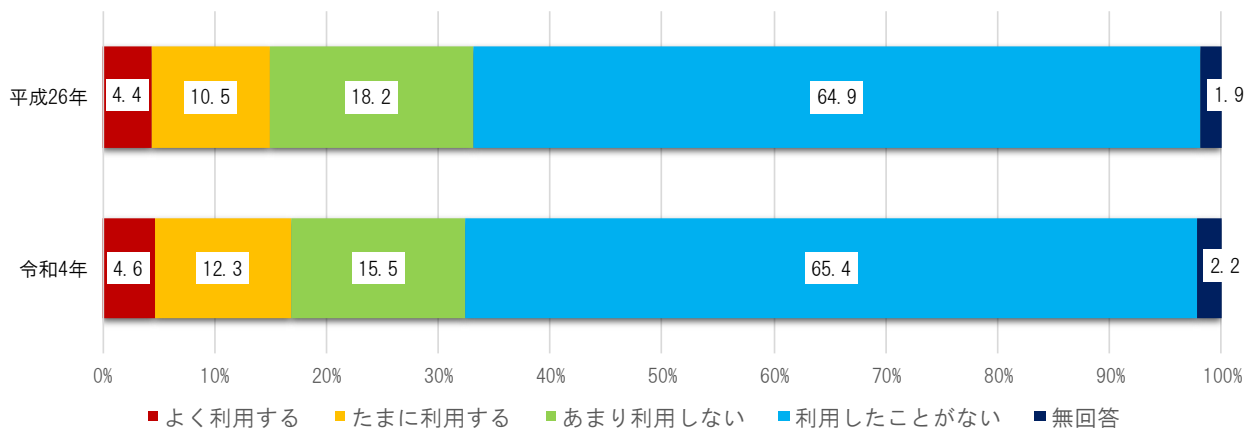
(単位：人)

施設名	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
松阪公園グラウンド	12,826	13,058	15,121	13,463	12,029	12,184	13,036
松阪市東部テニスコート	7,343	6,014	6,789	6,051	4,024	4,419	10,630
松阪公園プール	9,532	10,522	9,153	8,049	6,760	3,595	6,016
阪内川スポーツ公園	66,345	67,660	64,247	64,002	46,800	46,453	47,657
多目的グラウンド	12,807	12,715	11,233	10,739	9,602	7,193	5,158
テニスコート	7,890	6,831	6,597	6,858	8,633	6,457	5,234
ゲートボール場	2,017	2,142	2,368	2,006	1,681	1,564	2,184
松阪市武道館（柔道場）	22,591	26,050	26,476	26,164	13,443	13,599	13,064
松阪市武道館（剣道場）	13,323	12,197	10,595	11,202	5,439	10,102	12,285
松阪市武道館（弓道場）	7,717	7,725	6,978	7,033	5,888	6,251	7,759
会議室		2,158	2,523	3,134	2,114	1,287	1,973
松阪市嬉野グラウンド	15,215	16,898	18,438	16,085	12,465	9,107	9,709
松阪市嬉野体育センター	36,368	35,849	41,034	40,518	26,166	23,275	20,415
松阪市ハートフルみくも	33,640	36,490	33,942	37,829	26,144	21,721	22,146
スポーツ文化センター（体育館）	15,807	17,129	14,262	18,563	7,713	13,579	13,378
スポーツ文化センター（トレーニング場）	14,924	16,364	16,413	16,154	15,117	5,513	5,703
テニスコート	2,239	2,316	2,527	2,442	2,628	2,012	2,427
パターゴルフ場	670	681	740	670	686	617	638
松阪市雲出川河川敷グラウンド	3,408	4,944	5,376	3,159	3,448	1,088	廃止
松阪市飯南グラウンド	2,900	4,140	5,649	4,690	2,590	1,880	2,638
松阪市飯南そまびとグラウンド	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	487	1,301
松阪市飯南体育センター	9,694	8,091	9,654	4,357	5,678	4,072	3,794
松阪市波留運動公園	400	400	400	400	500	400	400
松阪市飯高B&G海洋センター	7,294	5,601	4,313	3,780	3,578	2,734	2,991
体育館	4,449	4,095	3,093	2,860	2,693	1,609	1,773
プール	2,845	1,506	1,220	920	885	1,125	1,218
松阪市中部台運動公園	121,766	132,785	131,355	124,073	117,139	86,747	87,070
松阪市総合体育館	35,067	41,332	40,826	35,643	34,421	22,459	23,353
総合体育館武道室	2,341	2,177	1,938	2,256	2,168	1,465	1,297
総合体育館卓球室	9,048	9,326	9,814	9,923	9,623	8,821	7,606
総合体育館トレーニング室	15,240	15,365	17,033	14,876	13,700	9,235	7,179
松阪市中部台テニスコート	36,703	38,469	35,770	37,253	37,066	33,228	30,287
松阪市流水プール	15,420	16,331	15,979	15,066	12,693	6,098	8,393
松阪市ソフトボール場	7,947	9,785	9,995	9,056	7,468	5,441	8,955
松阪市総合運動公園	76,147	65,189	73,147	78,981	97,899	100,881	89,911
多目的グラウンド	44,166	42,659	47,475	52,377	49,147	45,769	48,438
芝生広場	31,981	22,530	15,597	16,418	13,167	14,911	11,681
多目的広場	—	—	10,075	10,186	10,462	10,761	9,929
スケートパーク	—	—	—	—	25,123	29,440	19,863
<b>合計</b>	<b>327,831</b>	<b>343,552</b>	<b>414,342</b>	<b>403,378</b>	<b>362,872</b>	<b>317,955</b>	<b>317,714</b>

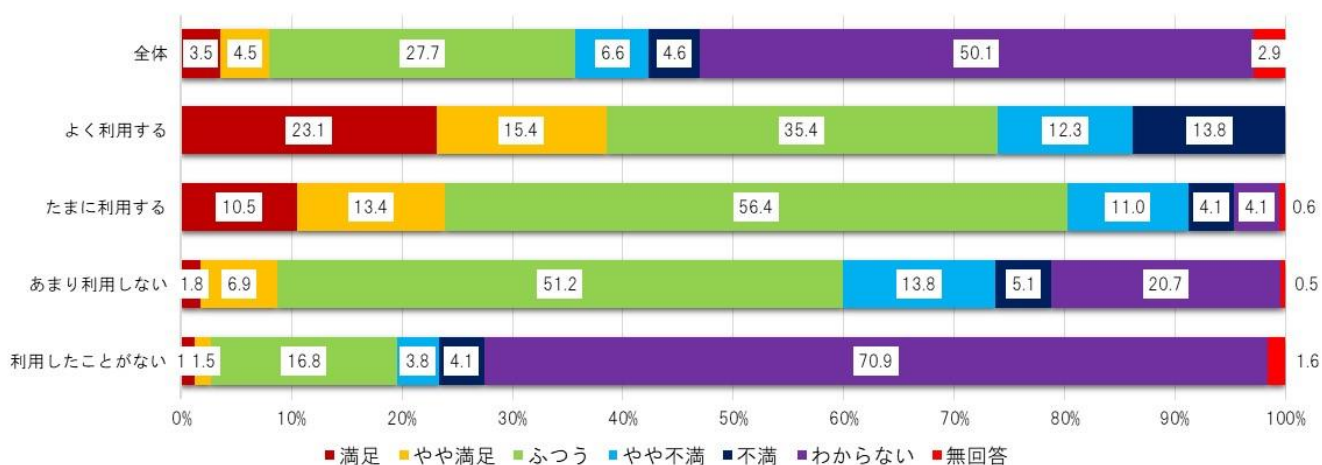
### (3) 市民意識調査からみたスポーツ施設の現状

市民意識調査で最近（この2～3年）の公共スポーツ施設の利用は、利用する（「よく利用する」「たまに利用する」を合わせた回答）と回答した人の割合は16.9%であり、利用しない（「あまり利用しない」「利用したことがない」を合わせた回答）と回答した人の割合は80.9%となっています。平成26年度時調査と比較すると利用すると答えた人の割合がわずかながら上がっています（図一25）。また、利用頻度が上がるほど施設・設備の内容の満足度が上がる傾向があります。それに対し、施設・設備数に関しては、施設を利用したことがない人は回答した方の約6割の人がわからないと回答し、利用したことがある人については、利用頻度に関係なく回答した半数の人がふつうであると回答しています（図一26、27）。

公共スポーツ施設を利用する上で充実してほしい点を聞いた質問では、「施設や設備の充実」を望むと答えた人の割合が38.1%と最も高く、次いで「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」が23.2%、「利用手続き、料金支払い方法の簡素化」が18.0%の順となっています。平成26年度時調査と比較すると施設や設備の充実を望む声が高くなっていることがわかりました（図一26）。



図一25 公共スポーツ施設の利用状況



図一26 公共スポーツ施設・設備の内容に対する満足度

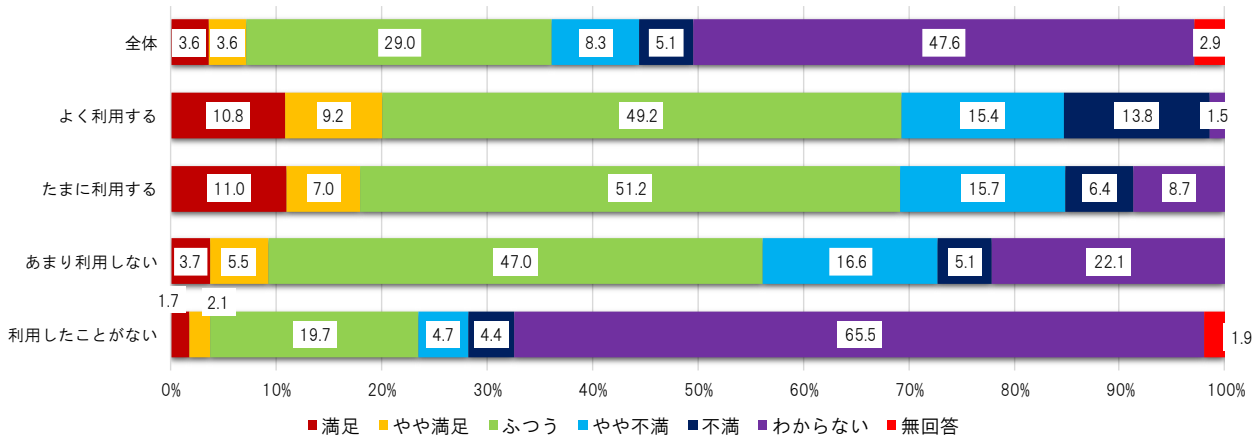


図-27 公共スポーツ施設・設備数に対する満足度

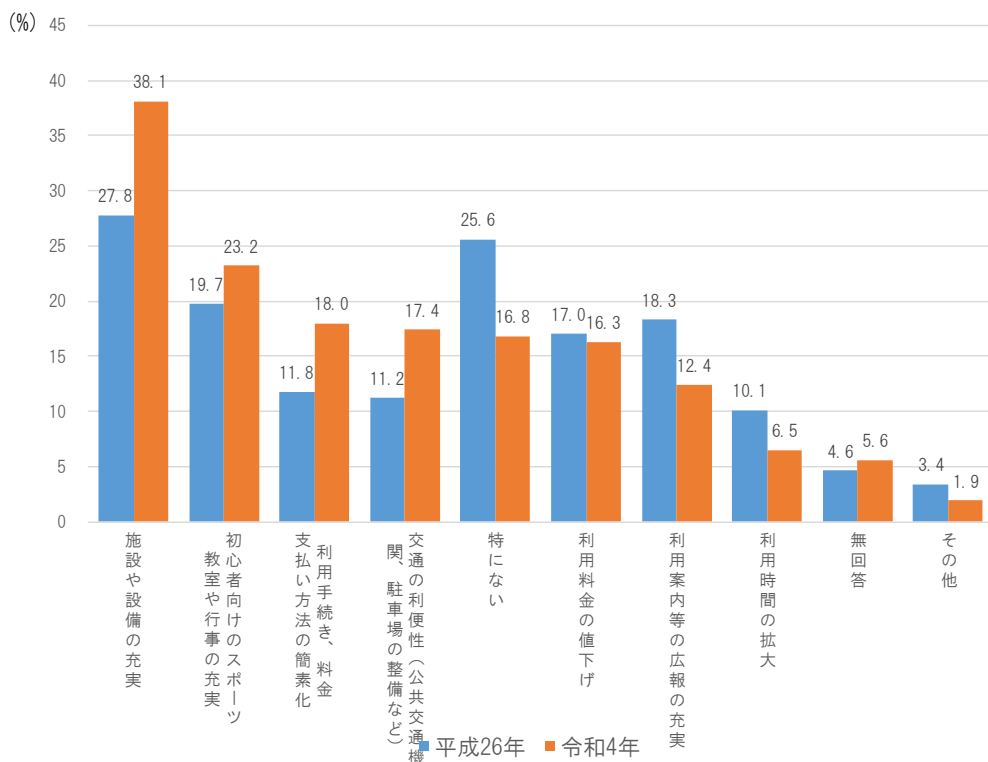


図-28 公共スポーツ施設を利用するうえで充実を望む点

また、市営プールについては、どの施設も老朽化が進み、近いうちに大規模な修繕や施設の更新（建て替え）が必要になってくることから、将来的に今ある市営プールを集約していく必要があることを踏まえ、今後の市営プールのあり方を尋ねた質問では「市営プールを更新（建て替え）する際には、より多くの市民が楽しめる施設のあり方を検討し集約すべき」と答えた人の割合が最も高く（66.3%）、次いで「市営プールを更新（建て替え）する際には、利用者のニーズに応え、集約せずに積極的に更新（建て替え）すべき」が14.6%、「市営プールを更新（建て替え）する際には、水泳技術の向上に重点をおいた施設のあり方を検討し集約すべき。」が3.1%の順となっています。一方で「市営プールは必要ない」と答えた人も6.6%いることがわかりました（図-29）

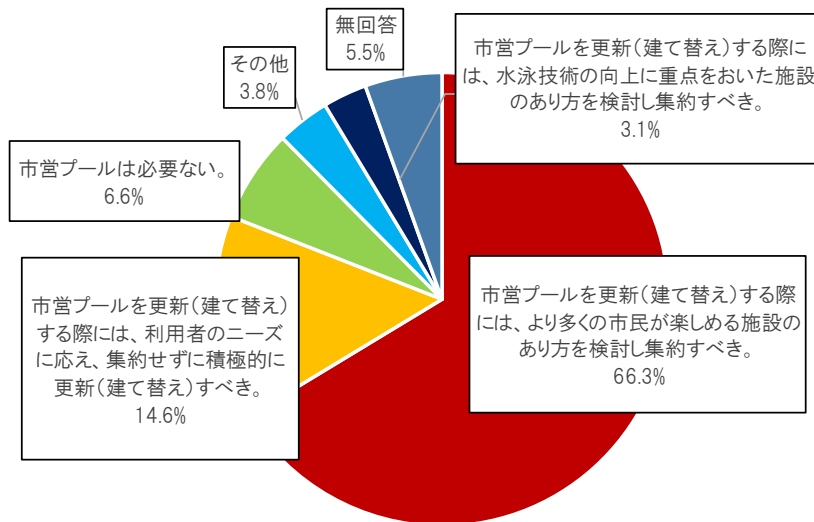


図-29 市営プールの今後について

同様に市営テニスコートについても、小規模のテニスコートが市内に点在している状況であり、個々の施設の老朽化も大きな課題となっていることから、他市のようにテニスコートを集約していく必要があります。集約については、テニスの大会が1か所でできる、あるいは効率的な管理ができる一方で、建設に多額の費用(数億円規模)がかかるなどが課題となっています。テニスコートの集約化について尋ねた質問では「わからない」と答えた人の割合が最も高く(55.7%)、次いで「コートを集約して設置すべき」が21.8%、「コートを集約して設置すべきでない」が15.3%の順となっています(図-30)。

さらに、「コートを集約して設置すべき」と答えた人のうち、テニスコート集約についての考えを尋ねた質問では、「費用対効果を高めるため、利用状況や利便性を踏まえて既存のテニスコートに隣接して新たに設置することが望ましい」と答えた人の割合が43.1%と最も高くなっていますが、「集約はすべきだが、具体的な方法はわからない」も40.5%であり具体的な方法については考え方が大きく分かれる結果となりました(図-31)。

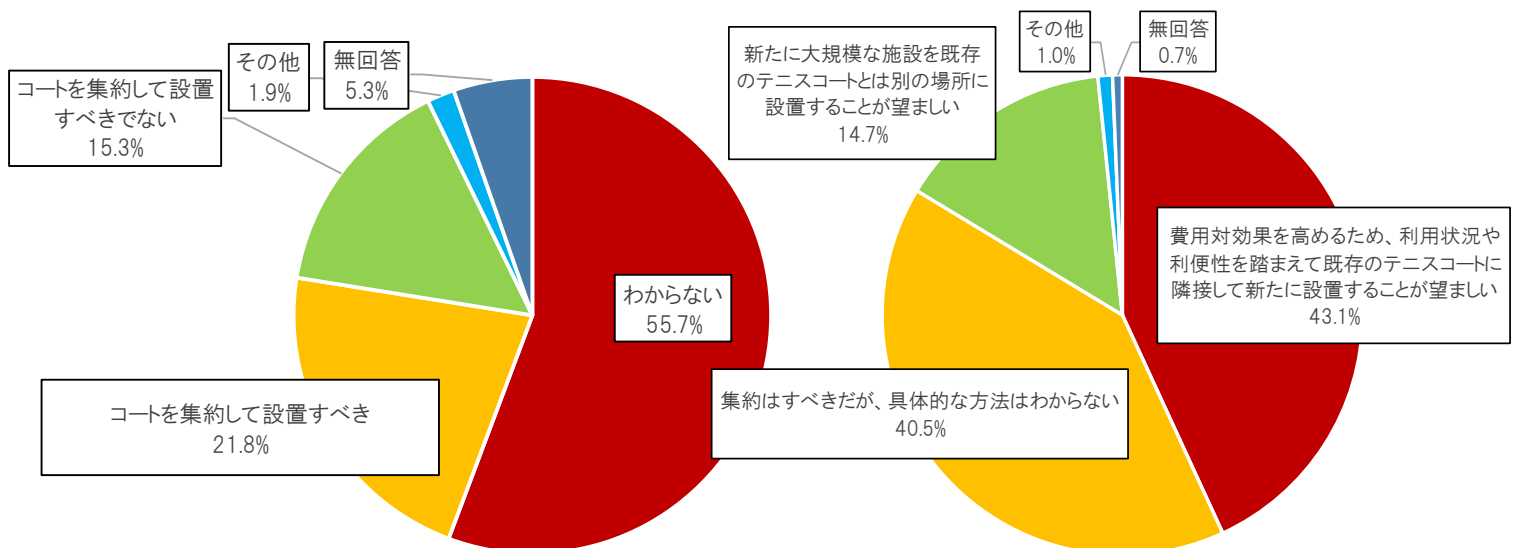


図-30 市営テニスコートの集約化について

図-31 市営テニスコート集約の考え方について

## 8. 成果目標の達成状況

松阪市スポーツ推進計画では、成果目標を掲げて計画の推進に取り組んできました。目標値に対する現状値については以下のとおりです。

施策	指標	計画策定時 基準値	現状値	目標値
1. 子どものスポーツ機会の充実	小学5年生の1週間の運動時間の割合が60分未満の割合	11.8%	11.5% (2021年度)	8.0%
	総合型地域スポーツクラブの認知度	13.9%	18.3% (2022年度)	20.0%
2. ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	20歳以上の市民が週1回以上スポーツを行う割合	42.4%	66.6% (2022年度)	57.0%
	自身の体力に対する自信について	38.0%	44.9% (2022年度)	45.0%
3. スポーツへの関心の向上	スポーツボランティア参加率(年1回以上)	2.6%	2.3% (2022年度)	30.0%
	松阪シティマラソンの参加人数	2,525人	9,139人※ (2022年度)	3,500人
4. スポーツ施設の整備・運営	公共スポーツ施設を利用している市民の割合	14.9%	16.9% (2022年度)	30.0%
	体育施設予約システムの認知度	11.5%	15.6% (2022年度)	60.0%

※みえ松阪マラソン2022のエントリー数



## 9. 今後のスポーツの推進に向けた課題

### (1) 子どもの運動・スポーツにおける課題

- ・特に小学生における体力・運動能力が国、県平均と比べて低下していることに加え、ほとんど運動をしない小中学生の割合も計画策定時に比べ改善していない。スポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著になっており、幼少期からスポーツに触れ合う機会の提供、子どもたちが楽しみながら運動に親しめるような学校での取組や、学校外におけるスポーツ活動の機会の提供を更に推進する必要がある。
- ・中学校の部活動の見直しに係る動向を注視しつつ、子どもたちがスポーツに親しむための多種多様な機会を用意していく必要がある。

### (2) 市民生活とスポーツ活動における課題

- ・コロナ禍により運動・スポーツを取り巻く環境が大きく変化する中で、特にビジネスパーソンや子育て層に効果的な施策・取組を実施する必要がある。
- ・市民が参加しやすいスポーツプログラムを取り入れ、より多くの市民の参加をめざしていくとともに、地域経済の活性化も視野に入れた大会・イベントの開催を進めていくことが望まれる。
- ・高齢者の生きがいづくり、健康寿命の延伸に向けてスポーツプログラムを継続的に実施していくことが必要である。
- ・障がい者の種別や年齢によらず、誰もが参加できる障がい者スポーツの推進を図っていく必要がある。
- ・スポーツを「する」だけでなく、スポーツを「観る」、スポーツを「支える」といった多様な形でのスポーツへの参画が求められる。
- ・スポーツを「支える」活動・文化を定着させていくことも今後に向けた課題である。

### (3) スポーツ関係団体等の課題

- ・多くの団体で会員の獲得や指導者の不足等に課題を抱えている団体が多く、新たな競技人口の獲得や指導者、後継者の育成を図るとともに、専門知識普及のための情報を発信していく必要がある。活動資金の確保も含めた持続可能な組織形態のあり方について検討していく必要がある。
- ・スポーツボランティアに対する参加意識が低く、スポーツボランティアの活動の場を広げて「支える」スポーツの魅力を普及していくことが望まれる。

#### **(4)スポーツイベントにおける課題**

- ・ コロナ禍で停滞している地域経済、そして希薄になった人間関係をスポーツを通じて回復させるべく、スポーツを通じた活力ある地域づくり、絆の強い社会づくりに取り組むことが望まれる。
- ・ 地域スポーツについては、地域によっては高齢化が進むとともに、子どもの数が減少し、地域の子ども会がなくなるなど、スポーツ行事が成り立たなくなるところもでてきている。このような中で地域スポーツ活動をどのように維持させていくのかが課題である。

#### **(5)スポーツ広報活動における課題**

- ・ スポーツイベント情報やスポーツ団体情報はもとより、松阪市出身のトップアスリートや全国レベルで活躍している市民の活躍を様々な媒体を使って広報していく必要がある。

#### **(6)スポーツ施設における課題**

- ・ スポーツ施設は市内各所に点在しており、さらに多くの施設が老朽化している。また、アンケート調査結果では利用者の割合は以前より増えたが、利用者実績はコロナ禍以前に比べ激減しており、将来の人口動態やスポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況等を踏まえ、計画的にスポーツ施設の整備を進めていく必要がある。
- ・ 特に集約化が課題となっている市営プールと市営テニスコートについては、その方向性について具体的に検討していく必要がある。
- ・ 限られた人員で多くのスポーツ施設を直接管理・運営していくことは難しいことから、指定管理者制度を含めた民間の活力を用いた施設の管理運営方法についても具体的に検討していく必要がある。